



第78回国民スポーツ大会

スポーツクライミング競技会 プログラム

SAGA 2024 国 ス ポ
全障スポ
The power of sports for everyone.

SPORT



CLIMBING

2024年

10/12^土 ~ 10/14^月 **祝**

九州クライミングベースSAGA

期 日

競技
会場

主 催



公益財団法人日本スポーツ協会／

文部科学省／佐賀県／

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会／多久市

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024 から、国体の愛称で親しまれてきた「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」へ変わります。大会の名称が変わるはじまりの地に選ばれた佐賀県は、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジします。

リアルアスリート・ピクトプロジェクト

新しい「国民」の「スポーツ」大会だから、みんなで作りたい。そんな思いを込めて制作したピクトグラム。すべて実在するアスリートのシルエットが元になっています。



国スポ 総合開会式

10 / 5 (土)

SAGAスタジアム

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



国スポ 総合閉会式

10 / 15 (火)

SAGAアリーナ

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



(公財)日本スポーツ協会(JSPO)は、「スポーツは、もっとオモシロイ。」を掲げ、スポーツが誰にとってもオモシロくなり、幅広い世代でスポーツが身近にある社会の実現を目指す『JAPAN GAMES』構想を推進。JSPOと佐賀県は、連携・協働してスポーツの新たな価値を創造します。

大会HP詳しくはこちら

SAGA 2024



目次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会会長 遠藤利明	1
文部科学大臣 盛山正仁	2
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 会長 蛭田伸一	3

歓迎のことば

SAGA2024 実行委員会会長 佐賀県知事 山口祥義	4
SAGA2024 多久市実行委員会会長 多久市長 横尾俊彦	5
佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟 会長 宮原敏明	6

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	7
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	7
大会役員	8
競技会役員	12
競技役員	13
競技補助員	15
競技会係員・競技会補助員	15
総則	16
実施要項	34
競技日程	38
大会会長トロフィー返還式・監督会議	39
種目別表彰式	40
総合表彰式	41

競技の見方	42
リード競技	42
ボルダー競技	43
種目別編成表.....	44
都道府県別参加人員一覧表	45
スポーツクライミング競技組合せ表	46
参加選手・監督一覧表	50
総合成績決定方法と手順	54
種目得点表	55
総合成績一覧表	57
過去の成績一覧表	58
天皇杯・皇后杯順位	58
種別・種目別順位	60
競技会場周辺地図	65
スポーツクライミング競技会場図	66
関係機関一覧表	68



あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

国の特別史跡に指定されている「吉野ヶ里遺跡」をはじめとする重要文化財や、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんち」などの伝統的行事が根付く、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

スポーツを通じた明るく豊かな国づくりを目指して昭和21（1946）年からスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として発展を遂げ、本年から「国民スポーツ大会」へと名称を変え、新たなスタートを切ります。

今大会は、幅広い世代の人々が、スポーツが身近にある生活を体験出来る社会の実現を目指した「JAPAN GAMES」の取組を本格化し、すべての人に「スポーツの力」を届けることができる大会を目指しております。

スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人、すべての方々がスポーツのオモシロさを体現し、スポーツで日本を元気にする大会となることを願っております。

さて、国民スポーツ大会を巡っては、今後の在り方に関して様々なご意見が寄せられておりますが、より魅力ある持続可能な大会とするため、幅広い分野の皆様に参加いただいた有識者会議を設置しております。

今後、検討を進めるに当たっては、今回の佐賀大会における「JAPAN GAMES」をはじめとする新たな取組の成果も充分活かしていきたいと考えております。

今大会は、当初から1年遅れての開催となりましたが、佐賀県の関係者の皆様をはじめ、開催を控えていた各県の皆様方のご協力なくしては実現できなかったものであり、改めてお礼申し上げます。

結びに、今大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元佐賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣

盛 山 正 仁

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会「SAGA2024 国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

佐賀県は玄界灘、有明海という多くの恵みをもたらす2つの海に面し、広大な佐賀平野やラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」「肥前鹿島干潟」等豊かな自然の魅力にあふれ、国の特別史跡である「吉野ヶ里遺跡」や400年以上の歴史を誇る「有田焼」を有する等、歴史と文化が息づく県です。

昭和51年の若楠国体以来48年ぶりの佐賀県での開催となり、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに、エンタメ性の高い式典、ナイトゲームの開催、スポーツホスピタリティ等、スポーツの可能性を追求する「新しい」取組に挑戦し、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、トップアスリートの育成を通じ、県民がスポーツを「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」というスポーツ文化の裾野拡大を目指し、スポーツのチカラを生かした人づくり、地域づくりを進める「SAGA スポーツピラミッド構想」という「新しい」仕組みも広がっています。国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更後初めての開催にふさわしい、今後のモデルケースとなる魅力的ですばらしい取組となっております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や佐賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

本年はパリオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され日本代表選手が大活躍し、国民のスポーツへの関心はますます高まっています。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「SAGA2024 国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元佐賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和6年7月29日



あいさつ

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

会長 蛭田 伸一

SAGA2024 国民スポーツ大会のスポーツクライミング競技会が「九州クライミングベース SAGA」で開催されることに、心より感謝申し上げます。この常設のクライミング施設の位置する佐賀県多久市は、歴史と自然が融合した地域であり、生活圏としても観光地としても多くの魅力があります。この会場では、ボルダージャパンカップやリードジャパンカップなど数多くの国内代表選手を決める大会が開催されてきました。今回の国民スポーツ大会の開催のために、スタッフは数年前から準備を重ね、リハーサル大会の課題を克服するなど、多くの尽力により、実現が可能となりました。

スポーツクライミングはアーバンスポーツとして注目を集め、東京 2020 オリンピックで正式競技として採用されました。銀メダルと銅メダルを獲得し、パリ 2024 オリンピックでも銀メダルを獲得するなど、多くの方々の支えと努力の成果が実を結びました。この喜びを皆様と共有できることを、大変嬉しく思います。

今回の大会では、この素晴らしいクライミング施設が競技会場となり、選手たちが実力を最大限に発揮し、最高のパフォーマンスを引き出す大きな助けとなるでしょう。皆様の努力と情熱が素晴らしい結果を生むことを確信しています。

大会の実現に向けて力を尽くしてこられた多くの方々、佐賀県、佐賀県多久市、教育委員会、スポーツ協会をはじめとする関係者の皆様には深く感謝申し上げます。特に、佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟の皆様には、日々のご支援とご協力に心より御礼申し上げます。

大会を通じて、選手たちが自らの限界に挑戦し、皆様がその感動を共有できることを楽しみにしています。また、スポーツクライミングがさらに多くの人に親しまれ、国民スポーツ大会が次世代の選手たちにとっても憧れの舞台となることを願っております。

改めて、皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、SAGA2024 国民スポーツ大会の成功を心よりお祈り申し上げます。



歓迎のことば

SAGA2024 実行委員会会長

佐賀県知事 山口 祥 義

「すべての人に、スポーツのチカラを。」新しい大会へようこそ。

感動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を超えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがあります。

こうしたスポーツの真の価値を大切にする佐賀県では、「SAGA スポーツピラミッド（SSP）構想」と銘打ち、アスリートの人生にコミットした人材育成、セカンドキャリア支援やスポーツビジネスの創出を進めて、アスリートが現役時代も引退後も、キャリアを活かして輝き続けることができる社会の実現を目指してきました。

その中で開催する「SAGA2024」は、スポーツ新時代を多くの方に実感できる大会として、日本に世界標準のスポーツ文化が根付く転機となると確信しています。

「SAGA2024」スポーツクライミング競技会、いよいよスタートです。

佐賀県は、スポーツクライミングのメッカ。競技会場は、世界基準の競技施設「九州クライミングベース SAGA」です。ナイトゲームで美しくライトアップされたウォールを駆け上がる選手たちの姿は圧巻です。スポーツクライミングの新たな魅力を体感することでしょう。

「SAGA2024」は“国体”から“国スポ”へと変わる大会です。

競技会では、選手個人にスポットを当てた表彰制度やメダルの授与、ナイトゲームや動画配信により選手の活躍を称え、熱戦をより多くの方に届けます。式典でも新たな演出に取り組みます。総合開会式の自由で楽しさあふれる選手団入場、音と光、映像を最大限に活かした総合閉会式など、大会に関わるすべての人と感動を分かち合います。

選手の皆様には、日々の練習に打ち込んできた情熱と、磨き上げてきた技を、この舞台上で披露していただければ、これ以上の喜びはありません。

佐賀県は、「弥生時代の吉野ヶ里遺跡」、「日本文化が花開いた肥前名護屋城」、「明治維新の礎を築いた偉人の輩出」と三回にわたり日本史転換の舞台となりました。これは「挑戦なくして、伝統なし」のマインドがこの地で培われているからだと考えます。有田焼、佐賀牛、佐賀酒といった文化・食材が世界で高い評価を受けていることもその証です。スポーツの世界も例外ではありません。佐賀県は、先人達の積み重ねに想いを馳せながら、新たな挑戦を続けていきます。

スポーツ新時代の幕が上がる、その瞬間と一緒に体感できることを嬉しく思うとともに、開催にあたり、多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎の言葉

SAGA2024 多久市実行委員会会長

多久市長 横尾 俊彦

緑園に輝き、創建 316 年の孔子廟を擁する文教の里・多久市へようこそ。

「SAGA2024」スポーツクライミング競技に皆様をお迎えし、本市で開催できますことを、多久市民を代表して「朋あり遠方より来たる、また楽しからずや」の心で歓迎いたします。

この言葉は、儒学の祖・孔子の教えや言行録が記された『論語』の章句です。さらに論語には「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」があります。「物事の知識がある人でも、好きな人には叶わない。好きな人も、それを楽しむ人には及ばない」という教えです。「SAGA2024」を心から楽しみ、ご自身の目標にチャレンジされる全選手に応援と期待を込めてお贈りしたい「論語」の教えです。

会場の九州クライミングベースSAGAは多久高校敷地内にありますが、最初のクライミングウォールは平成14年設置です。熱心な指導者と練習に励む生徒が集り、多久市からも県庁に要望したのです。施設・指導者・選手が揃い、互いに熱意を重ねて選手は躍進を続けました。その実績も踏まえ、国スポに向け、新施設を要望し、県の英断を経て完成しました。整備では当時JMSCA（公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会）の丸会長ほか多くの方々にお世話になり、国際基準での完成です。ここから世界をめざし、世界に挑む選手育成・養成に繋がることを期待しています。

それにしても選手の方々は凄い。リード競技途中、片手の中吊り状態で休憩とか、体重移動で垂直に登るとか、異次元の惑星人かスパイダーマンかと感嘆しきりです。

かつて多久高校の選手がイタリアの世界大会出場の際、ヨーロッパアルプスの一角の小さな村に世界の人々が集う素晴らしい開催地があると知りました。そんな夢に向かうチャレンジも叶えればと願ったりもします。

ベストパフォーマンスを発揮して、チーム&個人の勝利に結実を

「SAGA2024」は“国スポ”へ進化する大会で、多久市政施行70周年の年に開催される大切な大会です。皆様をお迎えすべく、市内義務教育学校生徒会発案で案内看板設置、プランターでの歓迎、手作り応援グッズ作成など、また市内保育園園児の応援旗など、市民一丸となって準備しました。多彩な取り組みも楽しんで頂けたら幸いです。

結びに、本大会開催にご尽力を賜りました関係各位に敬意を表し、選手の皆様の自己ベスト健闘を心より祈念し、歓迎の言葉といたします。



歓迎のことば

佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟会長

宮 原 敏 明

SAGA2024 国民スポーツ大会へ参加の選手監督役員の皆様、佐賀県多久市へお出でくださいまして、誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げます。特に今大会から成年男子も予選があるブロックでは、それを突破しての参加は喜びもひとしおでしょう。

佐賀から大会の名称が変わります。教育的意味合いがある体育からエンターテインメント性が強いスポーツへの変更は、全世代にわたり競技ばかりではなく娯楽性を伴った文化的活動へ高めようと意図されています。競技をする人、それを見る人、それらを支える人が一体となって盛り上げ、人生における格別の体験を日本国民が共有する大会と考えることが出来ます。

それに伴い、SAGA2024 国スポでは今までの国体には無かったナイトゲームを少年男子で行います。夜競技を行うのは仕事帰りに観戦しやすいようにとの配慮です。令和4年盛岡 WC でのナイトゲームは、ライトアップされた選手が色とりどりのホールドを登る様は華やかでエンターテインメントに相応しいものでした。またパリオリンピックでは観客の多さに驚きましたが、SAGA2024 国スポでも多くの方々にクライミングの観戦を楽しんで頂けるのではないかと思います。

また、九州クライミングベース SAGA は昨年 11 月にオープンし、今年 2 月に BJC、LJC、SJC が開催されました。6 月のリハーサル大会は他大会とタイアップするのはなく、ミニ国スポというような形で開催しました。さらに SAGA2024 国スポ以後も各種大会、講習会、体験会、合宿などを行う予定です。九州クライミングベース SAGA の歴史は始まったばかりです。

最後に、この日本一の施設を造って頂いた山口知事様をはじめ関係部署の皆様には、感謝しても仕切れない想いでいっぱいです。また、横尾市長様をはじめ SAGA2024 多久市実行委員会のスピード感のある仕事運びや実行力の有り様には感服しきりでした。そして JMSCA の蛭田会長様、丸前会長様をはじめ役員の方々には、大会運営に付いてのご指導をして頂きまして、心強い気持ちで準備に取り組むことが出来ました。県内役員の皆様には手弁当で多くの時間を割いて頂き、万全の準備が整いました。心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



天皇杯

皇后杯

詳しくはこちら
(国スポ諸規定)



国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

- 第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。
- 第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。
- 第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
 - (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
 - (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。
- 第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程



大会会長トロフィー

- 第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。
- 第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。
- 第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 責任をもって保管する。
 - (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
 - (3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
 - (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。
- 第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

大会役員

(2024 年 7 月 31 日現在)
(順不同・敬称略)

名誉会長	盛 山 正 仁				
会 長	遠 藤 利 明				
副 会 長	越 川 均	坂 元 要	益 子 直 美	森 岡 裕 策	
	室 伏 広 治	山 口 祥 義			
顧 問	伊 藤 雅 俊	森 善 朗	安 西 孝 之	岡 崎 助 一	
	大 野 敬 三	山 本 浩	岩 田 史 昭	池 田 めぐみ	
	今 井 純 子	今 浦 千 信	上 島 し の ぶ	鹿 島 丈 博	
	勝 田 隆	角 屋 憲 正	刈 谷 好 孝	工 藤 保 子	
	國 吉 富美子	高 井 志 保	高 野 瑞 洋	田 畑 綾 美	
	靈 池 恵 量	東 瀬 義 人	坂 東 美 紀	松 井 守	
	丸 山 由 美	室 伏 由 佳	山 倉 紀 子	山 下 泰 裕	
	草 野 満 代	藤 田 裕 司	森 井 じゅん	室 城 信 之	
	金 子 日出澄	湯 川 和 之	若 月 等	土 橋 登志久	
	石 丸 元 国	石 川 伸 男	坂 巻 義 男	鬼 頭 有紀子	
	長谷川 洋 子	吉 田 長 寿	齋 木 尚 子	多 賀 恒 雄	
	安 藤 淳	上 治 丈太郎	湧 永 寛 仁	上 原 絵 美	
	佐 藤 健 司	馬 場 美 香	山 口 宏	南 和 文	
	宮 永 美寿津	千 田 健 一	中 里 壮 也	岡 本 友 章	
	大 野 淳	加 藤 出	田 村 恒 彦	蒔 田 実	
	山 崎 勝 洋	眞 下 昇	山 口 徹 正	田 中 伸 周	
	村 田 利 衛	建 部 彰 弘	市 野 保 己	丸 石 博	
	中 村 ゆり子	齋 藤 良太郎	谷田部 和 彦	木 村 博 美	
	井 上 弘	今 川 啓 一	近 藤 重 和	池 谷 正 成	
	大 澤 明 美	古 城 資 久	小 野 賢 二	園 山 和 夫	
	中 山 俊 行	衣 笠 剛	知 念 かおる	出 口 弘 之	
	田 邊 哲 人	城 門 政 文	前 川 恵	上 杉 晃 央	
	布 村 幸 彦	茂 野 直 久	生 島 典 明	大 沢 陽 子	
	谷 藤 節 雄	熊 谷 幸 一	千 葉 玲 佳	奥 山 雅 信	
	穂 本 哲 哉	藤 田 知 巳	石 松 英 昭	田 子 昌 之	
	久 保 正 美	山 崎 成 夫	塩 見 清 仁	田 中 不二夫	

井 出 仁	今 西 博 一	中 村 宏 平	松 本 智 広
森 山 喜 博	南 部 則 雄	福 永 秀 樹	高 橋 繁 浩
河 口 端 子	増 田 和 伯	中 嶋 実 晃	山 本 誠 三
松 本 恭 幸	船 田 一 彦	奥 田 祐 一	横 尾 英 治
近 藤 一 幸	小 寺 祐 希	河 村 章 泰	渡 邊 浩 三
田 中 康 稔	馬 越 勝 彦	青 木 秀 子	城 戸 英 敏
旗 生 康 之	小 柳 勝 彦	辛 木 秀 治	宮 成 康 蔵
藤 本 格 朗	岩 元 幸 弘	平 良 藤 廣	藤 原 正 樹
大河原 嘉 司	川 上 隆 妙	佐 藤 幸 一	奈 良 久 美
小 菅 正 孝	宇津木 純 子	菊 あ 俊 章	小 林 宗 一郎
寺 澤 顕 子	山 口 伸 夫	あ 藤 原 章 貢	今 矢 野 和 彦
本 田 正 明	安 江 門 成	尾 坂 健 一郎	鈴 木 大 地
西 田 幸 三	山 西 合 俊	藤 田 直 志	三 須 裕 子
内 田 貞 信	川 合 場 益	砂 岡 良 治	金 丸 恭 文
富 山 英 聖	馬 道 光 二	河 田 正 満	千 松 丸 喜 一郎
橋 本 真 一	安 宅 雅 人	村 井 誠 一郎	福 田 達 夫
中 代 忠 宏	土 川 堯 薫	丸 匠 幸 一郎	不 老 安 正
網 耕 弘 成	笹 川 勝 信	番 城 光 裕	清 野 木 司
世 保 素 之	北 藤 有 司	岩 川 美 栄	柏 木 清 元
久 井 良 也	加 鶴 富 博	荒 吉 遠 岡	北 大 花
石 増 和 彦	福 山 本 浩	岡 杉 中	高 大 牧
達 井 俊 人	山 馳 田	中 西 岸	林 村 服
熊 谷 八 朗	田 口 本 義	西 岸 苅	大 牧 林
新 阿 部 守 一	河 池 宗 孝	苅 大 麻	村 岡 部
阿 井 弘 光	池 越 慎 賢	大 麻 生	服 春 岩
向 藤 元 彦	越 慎 賢 康	苅 大 麻	村 岡 部
齋 山 達 也	柿 内 石 田	大 麻 生	服 春 岩
丸 山 達 也	柿 内 石 田	大 麻 生	服 春 岩
柿 内 石 田	大 塩	大 麻 生	服 春 岩
大 塩		大 麻 生	服 春 岩

	大 申 博 志	古 川 康	福 岡 資 麿	山 下 雄 平
	大 場 芳 博	甲 斐 直 美	奥 田 律 雄	井 上 伸 一
	江里口 秀 次	田 島 健 一	山 口 弘 展	
参 与	橋 場 健	大 杉 住 子	西久保 弘 克	留 守 茂 幸
	武 藤 明 美	木 原 奉 文	徳 光 清 孝	藤 崎 輝 樹
	江 口 善 紀	古 賀 陽 三	中 本 正 一	一ノ瀬 裕 子
	青 木 一 功	木 村 雄 一	富 田 幸 樹	田 中 秀 和
	桃 崎 祐 介	酒 井 幸 盛	指 山 清 範	中 村 圭 一
	下 田 寛	野 田 勝 人	岡 口 重 文	弘 川 貴 紀
	猪 村 利恵子	石 丸 太 郎	土 井 敏 行	坂 口 祐 樹
	藤 木 卓一郎	池 田 正 恭	石 井 秀 夫	八 谷 克 幸
	古 川 裕 紀	宮 原 真 一	古 賀 和 浩	原 田 寿 雄
	石 倉 秀 郷	定 松 一 生	落 合 裕 二	南 里 隆 介
	牟 田 清 敬	加 藤 雅 世 子	飯 盛 清 彦	飯 盛 裕 介
	荒 木 薫	長 村 順 也	愛 野 時 興	岩 瀬 豊 美
	末 次 康 裕	陣 内 芳 博	野 田 亮	吉 松 幸 宏
	深 草 光 明	竹 田 敬 道	廣 重 昭 博	吉 田 聖 之
	中 村 直 人	峰 英太郎	園 田 耕太郎	大 島 信 子
	西久保 敏	川 寄 和 正	志 田 正 典	南 里 玲 子
	平 川 幸 雄	松 田 孝 友	大 竹 義 治	牛 島 英 伸
	谷 政 司	吉 田 彰 政	山 口 七 重	内 田 伸 也
	秀 島 寛	小 松 政		
委 員 長	山 本 浩			
副委員長	岩 田 史 昭	日 比 謙一郎	宮 原 耕 史	
総務委員	川 原 貴	菅 原 哲 朗	ヨーコ ゼッターランド	二 宮 智 浩
	加 藤 光 国	松 田 基 子	松 永 敬 子	三ヶ田 礼 一
	森 丘 保 典	守 屋 志 保	辻 睦 弘	廣 田 暢 実
	宮 野 欣 也	樋 口 和 彦	出 崎 和 夫	宇 野 武 幸
	野 口 友 里	加 藤 弘 和	小 澤 大 樹	塚 原 弘 幸
	森 岡 貴 之			

委 員	平野了	高橋聖一	吉村政弘	松本康夫
	能村卓	栗原崇	細野光史	小泉芳孝
	佐久間裕司	品田奥義	濱野勉	寺澤淳
	黒川重男	舟喜信生	高野修	中梶秀則
	安藤正美	加藤憲二	宮川良輔	鈴木章広
	川口巖	和田潔	岡泉茂	田口大祐
	平井宏治	岸川剛之	西原斗司男	菅原正幸
	高橋昇	長南哲生	衛藤敬輔	渡辺久雄
	三井千壽	鈴木信吾	山中博史	井本亘
	関根明子	中山二三男	越前浩司	吉田由美子
	杉本好二	東野眞理子	田中徹也	川口雅三
	金子裕大	品治恵子	富澤佑紀	小竹純太
	政岡航太郎	小河原百映	田口雅宏	吉丸尚宏
	宇田俊平	西口卓司	鈴木宏幸	宮村元忠
	高階匡樹	松井直樹	坂本雄大	鈴木清
	見田茂樹	大泉定幸	金丸利博	高橋直史
	山形信一	神久直巳	高野正規	岩埜貴人
	小林雄暢	深谷祐紀	矢島裕久	金井澤克行
	新保彰	江野浩一郎	児玉晶香	井藤隆司
	近本義典	大村文孝	松井直樹	藤高健二
	西島聖之	井上利久也	木原哲也	高橋浩二
	宮崎浩司	田口新幸	田藤啓一郎	渡青秀夫
	山邊浩良	辻岡英宏	三谷宏二	中野美和
	松山清信	濱本直人	佐保信哉	横山雅也
	徳田裕晃	宮城忠男	遠藤和司	千葉延定
	菅野善樹	庄村正博	細武嘉彦	竹内芳彦
	北井良広	北崎嘉二	田部長右衛門	木平吉徳
	今木健治	山西村浩志	渡嘉敷通之	住綾川
	荒木俊博	西北村藤彰	瀬戸	綾川
	田久保真美	遠藤		川原恵

競技会役員

(9月1日現在)
(順不同・敬称略)

競技会名誉会長 横 尾 俊 彦

競技会会長 蛭 田 伸 一

競技会副会長 町 田 幸 男 古 賀 英 年 吉 田 春 彦 宮 原 敏 明
伊 川 照 明 荒 瀬 弘 之

顧 問 田 中 文 男 石 井 昭 彦 服 部 一 雄 吉 田 春 彦
山 田 定 道 齊 藤 喜代志 大 滝 潤 二 平 子 吉 政
西 内 博 桑 川 章 吉 田 直 人 加 藤 富 之
廣 川 健太郎 水 島 彰 治 小宮山 稔 稲 田 春 男
杉 田 浩 康 中 西 紀 夫 新 耕 一 山 本 利 幸
木ノ内 高 嘉 伊 藤 智 彦 加 藤 正 之 小 木 曾 昭 文
澤 山 惠 湯 浅 誠 二 小 畑 和 人 古 賀 英 年
藤 本 直 民 山 口 進 小 坂 秀 己 松 本 実
石 原 敬 士 山 田 雅 昭 古 林 喜 明 木 村 康 男
原 秀 樹 峯 本 典 寛 刈 谷 範 光 寺 崎 良 夫
古 川 好 幸 西 本 安 幸 原 勇 人 新 原 祐 治
川 添 秀 男 細 川 浩 岩 崎 喜 司 野 北 悟
石 田 俊 二

参 与 坂 本 康 晴 藤 川 範 史 野 田 勝 人 彌 富 博 幸
田 洲 厚 香 月 正 則 坂 口 絹 代 中 島 慶 子
千 北 政 利 鷲 崎 義 彦 尾 形 武 史 廣 橋 時 則
市 丸 勝 義 渡 島 幸 司 中 島 國 孝 古 賀 公 彦
小 川 三 郎 江 打 正 敏 野 方 徳 浩 峯 賀 晋
野 中 加恵子 江 打 信 児

大会委員長 町 田 幸 男

大会副委員長 西 原 斗司男 武 末 良 樹 松 本 徳一郎

大会委員 小野寺 齊 赤 尾 浩 一 栗 田 季慎子 濱 田 豪
望 月 啓 治 安 井 博 志 小 高 令 子 小田部 拓
佐 藤 建 島 田 邦 昭 杉 本 怜 中 島 隆 之
中 橋 沙 羅 西 谷 善 子 野 村 善 弥 畑 中 涉
樋 口 義 朗 平 田 伸 也 前 田 善 彦

競技役員

(9月1日現在)
(順不同・敬称略)

競技会会長 蛭 田 伸 一

競技会副会長 町 田 幸 男 宮 原 敏 明

競技委員長 西 原 斗司男

競技副委員長 原 勇 人 武 末 良 樹

中央総務委員 山 本 和 幸 土 屋 正 昭 岩 本 郁 夫

県内総務委員 坂 本 康 晴 貝通丸 真 一 山 下 芳 文 末 永 麻 琴
市 来 由紀子

審 判 長 羽鎌田 直 人

副審判長 片 山 健 太 尾 形 保 充

<リード種目>

主審判員 長谷川 千 秋 本 多 隆 志

審判員 田 中 孝 明 長 尾 忍 宮 原 里 美 香 取 明 宏
八 木 希 江 原 一 興 樋 口 卓 玉 井 恭 平

チーフ・トセッター 松 島 暁 人

リートセッター 伊 藤 剛 史 岡 野 寛 尾 崎 浩 詔 水 口 僚
古 畑 和 音

チーフ・プレイヤー 中川内 元 気

プレイヤー 廣 瀬 政 廣 廣 瀬 郁 子 脇 川 大 奨 亀 甲 敦 史
寺 坂 正 樹 高 尾 勝 也 板 山 賢 一 田 村 友 哉
富 高 幹 也 酒 井 康 司 松 本 直 哉 山 本 真 也
西 山 慎太郎 佐 藤 光 央 畠 山 糧 原 田 聡一郎
古 賀 康 仁 有 吉 剛 治 石 松 正 一 福 原 正 夫

渡 島 奈 緒	轟 本 直 生	柿 本 亮 輔	小 田 裕 貴
中 島 寿希也	小 野 千 陽		

<ボルダー種目>

B主任審判員	彌 田 桂	奥 野 孝 太		
B 審判員	奥 崎 明 美	大 川 慎 哉	松 下 麻 美	井 田 浩 聡
	上 島 香 織	河 野 智 也	川 村 明 久	楠 田 淳 史
Bチーフルトセッター	徳 永 一 也			
Bルトセッター	平 島 元	中 島 雅 志	徳 永 潤 一	

<総務部>

総務部長	坂 本 康 晴			
総務副部長	末 次 広 人	尾 形 博 行		
経 理	外戸口 良 文	安 藤 京 子		
記録報道	東 島 朋 毅			
総合受付・案内	池 田 積	小 田 たか子	清 原 宏 一	松 尾 居武樹
医療救護(医師)	大 森 俊	小 木 浩 孝		

<競技部>

競技部長	武 末 良 樹			
L 競技副部長	久 我 信			
B 競技副部長	森 貴 彦			
L公式記録VTR	植 本 颯太郎	大 窪 薫	下 村 匠	河 端 香 織
L成績入力・集計	中 村 拓 斗			
Lアイル-ジ-ン監視・誘導	柿 原 健 太	福 島 慎 也	原 口 政 則	加 藤 遥 喜
Lコ-ル-ジ-ン監視・誘導	兵 働 晴 香	糸 山 裕 太	徳 永 健 児	
L選手受付	大 山 治 朗	大 坪 俊 輔	畑 瀬 一 樹	釘 島 竜 也
	山 口 歩	水 崎 由 佳	高 崎 朋 美	
L 県名表示	古 川 郁 三			
L荷物運搬・終了選手誘導	藤 田 泰 徳	小 川 高 明		
L進行アナウンス	徳 永 美 里			
L 通信連絡	吉 村 優 輝	貝通丸 真 一		

L 時 計	古 賀 康 聖	北 島 侑 起	土 井 優 志	吉 原 一 城
B公式記録VTR	副 島 淳 二			
B成績入力・集計	徳 永 隆 二			
B7イルミネーション監視・誘導	野 田 佳 哉	通 谷 美 樹	岡 崎 大 道	
B11イルミネーション監視・誘導	塚 原 文 香	田 中 大 貴	坂 井 滉 征	白 川 勇 樹
B選手受付	梶 祐 子	眞 崎 加奈子	松 田 洋 一	ハリスラムシグナワン
	森 山 唯 奈	高 下 日花里		
B県名表示	豊 増 愛 奈			
B荷物運搬・終了選手誘導	西 島 大 丸			
B進行アナウンス	大 曲 弘 剛			
B通信連絡	山 下 芳 文			
B 時 計	古 川 英 治			

<輸送宿泊部>

輸送・宿泊部長	永 尾 真一郎			
輸送・宿泊副部長	山 口 輝			
輸送・宿泊部員	篠 原 智 文	古 賀 幹 彦	境 俊 明	吉 原 健 治
	吉 田 豊 實	本 弓 康 澄	吉 田 和 子	島 慎 也
	岸 川 真 也	徳 永 和 久		

競技補助員

(順不同)

多久高等学校

佐賀工業高等学校

唐津東高等学校

多久ミュージカルカンパニー

競技会係員

SAGA2024 多久市実施本部

競技会補助員

SAGA2024 多久市ボランティア一同

総 則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

佐賀県で開催する第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」は「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げ、「する」「観る」「支える」の視点から、選手も、選手でない人も参加できる大会、エンターテインメント性の高い大会、みんなで力を合わせ、つくる大会をコンセプトに、体育からスポーツに変わる、今だからこそ、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指して開催する。

実 施 方 針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ
バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ（28 競技）

合気道、アジャタ、いごてだま、ウォーキング、草スキー、クップ、皿かぶり競走
さわやかグラウンド・ゴルフ、3B体操、室内ペタンク、シャッフルボード、
スカットボール、スケートボード、スポ GOMI、スポーツウエルネス吹矢、
スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、滝登り、チャレンジ・ザ・ゲーム、
パークゴルフ、バグジー、ビリヤード、フライングディスク、マリンスポーツ、
ユニカール、ラージボール卓球、ラダーゲッター、ロープ・ジャンプ・X

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期及び会場地

(1) 正式競技・特別競技（13市、11町：計24市町）

会 期	会 場 地
2024年10月5日（土） ～10月15日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町、大分県日田市、兵庫県三木市
2024年9月5日（木） ～9月17日（火） 〔13日間〕	佐賀市、伊万里市、鹿児島県湧水町 ※ 水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレー）、体操（体操競技、トランポリン）、カヌー（SL・WW）競技会は上記会場地で実施
2024年9月21日（土） ～10月1日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、神埼市、大分県由布市 ※ サッカー、テニス、体操（新体操）、セーリング、ソフトテニス、ライフル射撃、剣道、クレ射撃競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（6市、1町：計7市町）

会 期	会 場 地
2024年8月24日（土） ～9月22日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、基山町

(3) デモンストラレーションスポーツ（7市、8町：計15市町）

会 期	会 場 地
2024年4月21日（日） ～10月13日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2024年4月1日から2024年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 78 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号（イ）に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

【注】 上記（ウ）b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育・スポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第 77 回又は 2023 年開催の特別大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 77 回又は 2023 年開催の特別大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

【注】 a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

【注】 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者（別記 2 「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

【注】 a から c は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る

選手の参加資格の特例措置」による。)

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。)

f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者(別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。)

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会(以下「日本スポーツ協会」という。)が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと(別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。)

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地(以下「学校所在地」という。)

(ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2024年4月30日以前から本大会終了時(2024年10月15日)まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

置」の適用を受ける者

[少年種別]

a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者

b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

d 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2006年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2006年4月2日から2009年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2024年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2009年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	———	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県体育・スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。
なお各競技別実施要項の「参加申込み方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2024 年 8 月 15 日（木） 【5 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、 体操、カヌー
2024 年 8 月 28 日（水） 【12 競技】	サッカー、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、 相撲、ライフル射撃、剣道、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、 トライアスロン
2024 年 9 月 4 日（水） 【22 競技】	陸上競技、テニス、ホッケー、バレーボール（6人制）、 バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、 卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、 バドミントン、弓道、ラグビーフットボール、 スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、 なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ SAGA2024 実行委員会事務局

ウ SAGA2024 各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

- (1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県体育・スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3,000 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6,000 円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

- (2) 大会参加負担金は、都道府県体育・スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2024 年 9 月 5 日（木）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、SAGA2024 実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2025 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、滋賀県 100 名以内、青森県及び宮崎県 60 名以内、長野県及び群馬県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 大会参加章、記念章及び AD カードの交付

大会参加章、記念章及び AD カードは、次の者に交付する。

- (1) 大会参加章
都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員
- (2) 記念章
公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者
※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。
- (3) AD カード
都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督及び役員、大会役員・競技会役員及び競技団体が指定した競技役員、大会主催者及び競技会主催者が認めた者には AD カード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、SAGA2024 実行委員会、SAGA2024 各競技会場地市町実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) SAGA2024 実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、佐賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。
- (3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県体育・スポーツ協会へ通知する。

19 SAGA2024 の取り組み

- (1) 選手の活躍にスポットを当てた表彰

選手の活躍は、観る人、支える人などにとって「感動する。魂が揺さぶられる」など「スポーツのチカラ」を多くの方に届けることができる。それぞれの選手の活躍にスポットを当てた「称える・伝える」表彰制度を創設し、表彰する。

- (2) 観戦機会の拡大

「すべての人に、スポーツのチカラを。」の実現に向け、全国で大会の観戦・応援ができる環境づくりとしてインターネットを活用した正式競技の動画配信に取り組む。また、「一人でも多くの方に会場で観戦・応援を楽しんでほしい。」という思いから、夕方以降の試合が可能な一部の競技においてナイトゲーム開催に取り組む。

- (3) 健康づくりの推進

健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）の趣旨に鑑み、開・閉会式会場及び競技会場を原則禁煙とする。また、望まない受動喫煙を生じさせることがないように、大会参加者は、会場周辺の道路や駅、一般の店舗等における受動喫煙防止についても十分な配慮すること。

20 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。
- (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記１ 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第１０項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の４月３０日（冬季大会は前年の４月３０日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－(1)－１)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③)に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)〕及び別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民体スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規程する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

〔注〕 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置(以下「本特例」という。)」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第32回オリンピック競技大会(2021年・東京)に参加した者。
- (2) 2024年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技(種目)における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件(日数要件の緩和)

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時(2024年10月15日)まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外(海外を含む)において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時(2024年10月15日)まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県との6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回または2023年開催の特別大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から2023年開催の特別大会または

第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合
○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011 年度から 2012 年度（小学校は 2015 年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から当該大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回大会または2023年開催の特別大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

【注】「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から2023年開催の特別大会または第78回大会に参加した者が、第79回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項

－(1)－ 1) －③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実施要項

1 期 日 2024年10月12日（土）から10月14日（月）まで（3日間）

種 別	10月12日（土）	10月13日（日）	10月14日（月）
成年男子	ボルダー予選（B）	リ ー ド予選（L）	ボルダー決勝（B） リ ー ド決勝（L）
成年女子	ボルダー予選（B）	リ ー ド予選（L）	リ ー ド決勝（L） ボルダー決勝（B）
少年男子	リ ー ド予選（L） リ ー ド決勝（L）	ボルダー予選（B）	ボルダー決勝（B）
少年女子	リ ー ド予選（L）	ボルダー予選（B） ボルダー決勝（B）	リ ー ド決勝（L）

2 会 場 多久市 （リ ー ド競技）九州クライミングベース SAGA （ボルダー競技）九州クライミングベース SAGA

3 種別（種目）及び参加人員

種 別	種 目	監 督	選 手	参加 都道府県	小 計	合 計 （人）
成年男子	リ ー ド ボルダー	1	2	26	78	309
成年女子	リ ー ド ボルダー	1	2	26	78	
少年男子	リ ー ド ボルダー	1	2	26	78	
少年女子	リ ー ド ボルダー	1	2	25	75	

4 競技上の規程及び方法

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会が定めた現行の競技規則による。

5 予選方法

- (1) 各都道府県連盟（協会）は、都道府県大会を主管して実施し、種別ごとにブロック大会に出場する代表1チームを決定する。
- (2) ブロック大会主管連盟（協会）は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表を決定する。

ただし、下記(3)で定める各ブロック大会区分の都道府県数と代表チーム数が同数の種別については、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

成年男子（北海道、近畿、中国、開催県） 成年女子（北海道、東北、北信越、開催県）
少年男子（北海道、関東、東海、開催県） 少年女子（北海道、四国、九州、開催県）

(3) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 男子	成年 女子	少年 男子	少年 女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	6	2	3
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	3	3	8	3
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	5	2	1
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	2	4	1
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	6	3	2	2
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	5	1	2	2
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	2	4
九 州	福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	3	2	7
開催県	佐賀	1	1	1	1
計		26	26	26	25

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 少年種別に参加できる選手は、2009 年 4 月 2 日から 2010 年 4 月 1 日までに生まれた中学 3 年生を含む。
- (2) 選手と監督の兼任は認めない。
- (3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認山岳コーチ 1、公認山岳コーチ 2、公認山岳コーチ 3、公認山岳コーチ 4、公認スポーツクライミングコーチ 1、公認スポーツクライミングコーチ 2、公認スポーツクライミングコーチ 3、公認スポーツクライミングコーチ 4 のいずれかの資格を有していなければならない。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第 1 位から第 8 位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種目とも 1 位 24 点、2 位 21 点、3 位 18 点、4 位 15 点、5 位 12 点、6 位 9 点、7 位 6 点、8 位 3 点の競技得点を与える。 ただし、同点の場合は、当該都道府県でその順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点については、次の順位のを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第 1 位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 種別ごとに各種目の第 1 位から第 8 位までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則 8 に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を記入の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通じて、2024 年 9 月 4 日（水）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病・傷害等特別な場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。

なお、選手が「国民スポーツ大会予選会免除に関する要領」に基づく本協会が指定する世界選手権大会等の国際競技大会に出場する場合は、選手変更を認める。

ア 提出期限 監督会議前まで

イ 提出先

- (ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 807
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
TEL 03-5843-1631 FAX 03-5843-1635
- (イ) 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目 1 番 59 号
SAGA2024 実行委員会事務局
(佐賀県 SAGA2024・SSP 推進局
SAGA2024 競技運営チーム 国民スポーツ大会担当)
TEL 0952-25-7405 FAX 0952-25-7354
- (ウ) 〒846-8501 佐賀県多久市北多久町大字小侍 7 番地 1
SAGA2024 多久市実行委員会事務局
(多久市国民スポーツ大会推進課)
TEL 0952-20-0268 FAX 0952-20-0269

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2024 年 9 月 7 日（土） 午後 2 時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
TEL 03-5843-1631 FAX 03-5843-1635

(2) 競技役員全体会議

日 時 2024 年 10 月 11 日（金） 午後 1 時

場 所 九州クライミングベース SAGA
〒846-0002 佐賀県多久市北多久町大字小侍 23 番地

(3) 大会会長トロフィー返還式・監督会議

日 時 2024 年 10 月 11 日（金） 午後 5 時

場 所 嬉野市立嬉野小学校体育館
〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙 1647 番地

(4) 審判員会議

日 時 2024 年 10 月 14 日（月） 午後 5 時

場 所 九州クライミングベース SAGA
〒846-0002 佐賀県多久市北多久町大字小侍 23 番地

(5) 総合表彰式

日 時 2024 年 10 月 14 日（月） 午後 6 時 10 分

場 所 九州クライミングベース SAGA
〒846-0002 佐賀県多久市北多久町大字小侍 23 番地

競 技 日 程

多久市

競技役員全体会議	10月11日(金)	13:00～	九州クライミングベース SAGA
監督会議	10月11日(金)	17:00～	嬉野市立嬉野小学校体育館

	前 日	第1日	第2日	第3日
	10月11日(金)	10月12日(土)	10月13日(日)	10月14日(月・祝)
成年男子		ボルダー競技(B) 予 選 15:30～18:02	リード競技(L) 予 選 11:40～16:20	ボルダー競技(B) 決 勝 9:00～10:36 リード競技(L) 決 勝 16:00～16:48
成年女子	選手・監督受付 16:00～16:50 (嬉野市立 嬉野小学校体育館)	ボルダー競技(B) 予 選 10:20～12:52	リード競技(L) 予 選 11:40～16:20	リード競技(L) 決 勝 9:00～9:48 ボルダー競技(B) 決 勝 15:00～16:36
少年男子	大会会長 トロフィー返還式 監督会議 17:00～17:40 (嬉野市立 嬉野小学校体育館)	リード競技(L) 予 選 10:20～15:00 リード競技(L) 決 勝 18:30～19:20	ボルダー競技(B) 予 選 13:10～15:42	ボルダー競技(B) 決 勝 12:00～13:36
少年女子		リード競技(L) 予 選 10:20～15:00	ボルダー競技(B) 予 選 9:00～11:27 ボルダー競技(B) 決 勝 17:20～18:56	リード競技(L) 決 勝 12:30～13:18

審判員会議	10月14日(月・祝)	17:00～17:30	九州クライミングベース SAGA
総合表彰式	10月14日(月・祝)	18:10～19:00	九州クライミングベース SAGA

大会会長トロフィー返還式・監督会議

開 催 日 令和6年10月11日（金）
会 場 嬉野小学校体育館
受 付 時 間 16時00分～16時50分
開 催 時 間 17時00分～17時50分
出 席 者 監督、競技会役員、競技役員
SAGA2024 多久市実行委員会

- 次 第
- ～大会会長トロフィー返還式～ 17:00～17:15
1. 開式通告
 2. 大会会長トロフィー返還
 3. レプリカ授与
 4. 挨拶
 - (1) 競技会会長 蛭田 伸一
 - (2) SAGA2024 多久市実行委員会会長 横尾 俊彦
 - (3) 競技会副会長 宮原 俊明
 5. 競技開始宣言
 6. 閉式通告
- ～監督会議～ 17:20～17:50
1. 開会
 2. あいさつ
 3. 出席者紹介
 4. 議事
 - (1) 競技審査について
 - (2) 競技運営について
 - (3) 各競技について
 5. 質疑応答
 6. 閉会
 7. 諸連絡

種目別表彰式

会 場	九州クライミングベース SAGA 種目別表彰式会場
出 席 者	選手・監督、競技会役員、競技役員 SAGA2024 多久市実行委員会
次 第	1. 開式通告 2. 成績発表 3. 賞状、メダル（記念品）授与 4. Taku presents MVP 賞授与 5. 閉式通告

開 催 日

期日	種別	種目	時間
10月13日(日)	少年男子	リード	16時10分～16時25分
10月14日(月・祝)	少年女子	ボルダー	10時00分～10時15分
	成年女子	リード	10時55分～11時10分
	成年男子	ボルダー	11時10分～11時25分
	少年女子	リード	13時55分～14時10分
	少年男子	ボルダー	14時10分～14時25分
	成年男子	リード	17時20分～17時35分
	成年女子	ボルダー	17時35分～17時50分

総合表彰式

開催日 令和6年10月14日（月・祝）
会場 九州クライミングベース SAGA
ボルダー会場

開催時間 18:10～19:00
出席者 選手・監督、競技会役員、競技役員
SAGA2024 多久市実行委員会

- 次第
1. 開式通告
 2. 審判長講評
 3. 成績発表
 4. 表彰状授与
 5. 大会会長トロフィー授与
 6. 大会会長あいさつ
 7. 歓送のことば
 8. 日本山岳・スポーツクライミング協会旗引継ぎ
 9. 次期開催県山岳連盟（会長）あいさつ
 10. 国旗、大会旗、日本山岳・スポーツクライミング協会旗儀礼
 11. 競技会終了宣言
 12. 閉式通告

競技の見方

スポーツクライミング競技会は、2名で1チームの団体競技です。競技は「リード競技」と「ボルダー競技」の2種目があり、2名がそれぞれ2種目を競技し、種目ごとにチーム順位をつけて競います。

リード競技

●競技概要

高さ12m以上、幅3m以上のクライミングウォール（人工壁）にルートセッターにより設定されたルートを登り、所定の時間内に到達した高さで順位が決まります。ルートを作成するために使用するホールド数は最大55～60個ほどで、途中の支点にロープをかけ安全を確保しながら登り、トップホールドに到達して最後の支点にロープをかけると「完登」となります。持久力が勝敗を分けるため、疲労をためない効率的な動きが結果を左右します。

●競技の進め方

選手全員が、競技の前に6分間だけルートを観察する「オブザベーション（下見）」を行います。その間にどう攻略するか考えなければなりません。予選においては、他の選手の登りを見ることや、予め撮影したデモンストレーションビデオを見ることができるフラッシュ方式が採用されています。決勝においては、他の選手の登りを見ることや外部との連絡によって情報を得ることは一切できないオンサイト方式で本番を待ちます。制限時間（6分）の間にスタートホールドから、トップホールド（終了点のホールド）まで登り、最後の支点にロープをかければ「完登」となります。途中で落下した場合は、その到達高度で終了となります。

●順位の決定方法

それぞれの選手の到達高度から個人順位を算出し、2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

クライミング用語の解説

- ◇「ルートセッター」ウォールにホールドを取付、選手が登るルートを作成する人を指します。
- ◇「ホールド」壁から突起した手掛かり、足掛かりとなるもの。色や形も多種多様。持ちやすいもの、持ちづらいものがあり、これで課題の難しさを演出します。
- ◇「ハーネス」ロープを結ぶ安全ベルトのこと。
- ◇「課題」人工壁にホールドで構成された登るためのコースのこと。
- ◇「グレード」課題の難易度。ボルダーにおいて日本では主に段級位制が使われ、初級者の方は8～7級からで数が減ることで難易度が上がります。1級の次は初段、二段と段数が増えていきます。リードでは11, 12, 13…と数字が大きくなると難しくなり、更に数字にa～dが付き11 aよりも11 dの方が難易度が高くなります。
- ◇「フラッシュ方式」下見をしたうえで登ること。
- ◇「オンサイト方式」初めて見たコースを一度で完登すること。

ボルダー競技

●競技概要

ボルダー競技は、高さ5 m以下、幅6 m程度のクライミングウォール（壁の傾斜や形状が異なる4面）の壁に取り付けられたホールドで構成される4つの課題をいくつ「完登」できるかを競います。リードクライミング競技（リード競技）と異なりロープを使わないので、地面には落下時の衝撃を緩衝するマットを敷いて競技を行います。

●競技の進め方

国スポでは1チーム2人1組で行います。中央から左に2課題、右に2課題が設定されており、2名の選手は、制限時間（5分間）の中でまず2課題を登ります。休憩を挟んで残りの2課題を同様に5分間で登ります。スタートホールドは、それぞれの課題によって異なる配置となっており、4点支持（四肢）によってスタートを切ります。トップホールドに両手で触れて姿勢を安定させれば「完登」となります。

●順位の決定方法

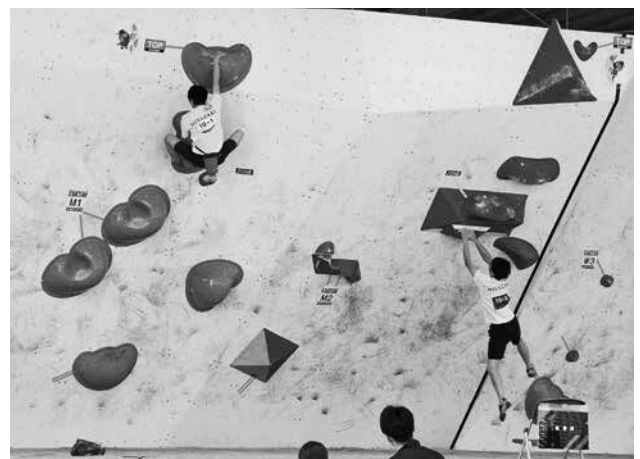
スタートのホールドから、終了点のホールドを両手で保持出来れば「完登」となります。完登が出来なくても、途中で設定してあるゾーンポイントのホールドを保持することによってゾーンポイントを得ることが出来ます。制限時間内であれば、途中で落ちて何度でも挑むこと（アテンプトすること）が出来ますが、同じ完登でもアテンプト数が少ないほど優位になります。チームの選手2名が4つの課題を登り、獲得した「完登数」「ゾーンポイント数」で順位が決まります。2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

●特徴

ボルダー競技は、課題ごとに様々な動きが要求され、選手は瞬時の判断力と対応力が求められます。また、チームの選手同士での相談やアドバイスすることもできるため、チーム力も必要になります。



リード



ボルダー

種目別編成表

成年男子	1 北海道	2 青森県	4 宮城県	9 栃木県	11 埼玉県	13 東京都	16 新潟県	20 福岡県	23 三重県	25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県	29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県	33 岡山県	34 広島県	35 山口県	26 チーム	
	36 香川県	38 愛媛県	40 福岡県	41 佐賀県	42 長崎県	46 鹿児島県																
成年女子	1 北海道	2 青森県	3 岩手県	4 宮城県	5 秋田県	6 山形県	7 福島県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	16 新潟県	17 長野県	18 富山県	19 石川県	20 福井県	22 愛知県	23 三重県	25 滋賀県	27 大阪府	28 兵庫県	26 チーム	
	35 山口県	38 愛媛県	40 福岡県	41 佐賀県	42 長崎県	47 沖縄県																
少年男子	1 北海道	3 岩手県	6 山形県	8 茨城県	9 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	15 山梨県	16 新潟県	19 石川県	21 静岡県	22 愛知県	23 三重県	24 岐阜県	28 兵庫県	29 奈良県	31 鳥取県	26 チーム	
	35 山口県	37 徳島県	39 高知県	40 福岡県	41 佐賀県	45 宮崎県																
少年女子	1 北海道	3 岩手県	5 秋田県	6 山形県	11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	17 長野県	21 静岡県	27 大阪府	29 奈良県	31 鳥取県	35 山口県	36 香川県	37 徳島県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県	41 佐賀県	42 長崎県	26 チーム	
	43 熊本県	44 大分県	45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県																	

都道府県別参加人員一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		合計		総計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	
北	1	北海道	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
東北	2	青森県	1	2	1	2					2	4	6
	3	岩手県			1	2	1	2	1	2	3	6	9
	4	宮城県	1	2	1	2					2	4	6
	5	秋田県			1	2			1	2	2	4	6
	6	山形県			1	2	1	2	1	2	3	6	9
	7	福島県			1	2					1	2	3
	8	茨城県					1	2			1	2	3
関東	9	栃木県	1	2			1	2			2	4	6
	10	群馬県					1	2			1	2	3
	11	埼玉県	1	2			1	2	1	2	3	6	9
	12	千葉県			1	2	1	2	1	2	3	6	9
	13	東京都	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	14	神奈川県			1	2	1	2			2	4	6
	15	山梨県					1	2			1	2	3
	16	新潟県	1	2	1	2	1	2			3	6	9
北信越	17	長野県			1	2			1	2	2	4	6
	18	富山県			1	2					1	2	3
	19	石川県			1	2	1	2			2	4	6
	20	福井県	1	2	1	2					2	4	6
	21	静岡県					1	2	1	2	2	4	6
東海	22	愛知県			1	2	1	2			2	4	6
	23	三重県	1	2	1	2	1	2			3	6	9
	24	岐阜県					1	2			1	2	3
	25	滋賀県	1	2	1	2					2	4	6
近畿	26	京都府	1	2							1	2	3
	27	大阪府	1	2	1	2			1	2	3	6	9
	28	兵庫県	1	2	1	2	1	2			3	6	9
	29	奈良県	1	2			1	2	1	2	3	6	9
	30	和歌山県	1	2							1	2	3
	31	鳥取県	1	2			1	2	1	2	3	6	9
中国	32	島根県	1	2							1	2	3
	33	岡山県	1	2							1	2	3
	34	広島県	1	2							1	2	3
	35	山口県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	36	香川県	1	2					1	2	2	4	6
四国	37	徳島県					1	2	1	2	2	4	6
	38	愛媛県	1	2	1	2			1	2	3	6	9
	39	高知県					1	2	1	2	2	4	6
	40	福岡県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
九州	41	佐賀県	1	2	1	2	1	2	1	2	4	8	12
	42	長崎県	1	2	1	2			1	2	3	6	9
	43	熊本県							1	2	1	2	3
	44	大分県							1	2	1	2	3
	45	宮崎県					1	2	1	2	2	4	6
	46	鹿児島県	1	2					1	2	2	4	6
	47	沖縄県			1	2			1	2	2	4	6
	合計		26	52	26	52	26	52	25	50	103	206	309

スポーツクライミング競技組合せ表

種目別組合せ表（競技順）

成年男子										
	12日(土)		13日(日)				14日(月)			
	ボルダー予選		リード予選				ボルダー決勝		リード決勝	
受付開始	13:30		9:40				7:00		14:00	
受付終了	14:30		10:40				8:00		15:00	
選手紹介・ オブザーベーション	15:10		—				8:40		15:45	
競技開始	15:30		11:40				9:00		16:00	
組合 せ	競技順		Aルート競技順		Bルート競技順		競技順		競技順	
	1	鹿児島県	1	青森県-1	27	福岡県-2	1	福岡県-2	27	青森県-1
	2	宮城県	2	宮城県-1	28	三重県-2	2	三重県-2	28	宮城県-1
	3	青森県	3	滋賀県-1	29	山口県-2	3	山口県-2	29	滋賀県-1
	4	鳥取県	4	埼玉県-1	30	広島県-2	4	広島県-2	30	埼玉県-1
	5	愛媛県	5	鹿児島県-1	31	兵庫県-2	5	兵庫県-2	31	鹿児島県-1
	6	島根県	6	鳥取県-1	32	福井県-2	6	福井県-2	32	鳥取県-1
	7	山口県	7	岡山県-1	33	奈良県-2	7	奈良県-2	33	岡山県-1
	8	京都府	8	大阪府-1	34	香川県-2	8	香川県-2	34	大阪府-1
	9	北海道	9	新潟県-1	35	栃木県-2	9	栃木県-2	35	新潟県-1
	10	栃木県	10	島根県-1	36	京都府-2	10	京都府-2	36	島根県-1
	11	東京都	11	和歌山県-1	37	長崎県-2	11	長崎県-2	37	和歌山県-1
	12	福井県	12	東京都-1	38	愛媛県-2	12	愛媛県-2	38	東京都-1
	13	和歌山県	13	佐賀県-1	39	北海道-2	13	北海道-2	39	佐賀県-1
	14	奈良県	14	福岡県-1	40	青森県-2	14	青森県-2	40	福岡県-1
	15	岡山県	15	三重県-1	41	宮城県-2	15	宮城県-2	41	三重県-1
	16	福岡県	16	山口県-1	42	滋賀県-2	16	滋賀県-2	42	山口県-1
	17	佐賀県	17	広島県-1	43	埼玉県-2	17	埼玉県-2	43	広島県-1
	18	長崎県	18	兵庫県-1	44	鹿児島県-2	18	鹿児島県-2	44	兵庫県-1
	19	埼玉県	19	福井県-1	45	鳥取県-2	19	鳥取県-2	45	福井県-1
	20	大阪府	20	奈良県-1	46	岡山県-2	20	岡山県-2	46	奈良県-1
	21	三重県	21	香川県-1	47	大阪府-2	21	大阪府-2	47	香川県-1
	22	兵庫県	22	栃木県-1	48	新潟県-2	22	新潟県-2	48	栃木県-1
	23	新潟県	23	京都府-1	49	島根県-2	23	島根県-2	49	京都府-1
	24	滋賀県	24	長崎県-1	50	和歌山県-2	24	和歌山県-2	50	長崎県-1
	25	香川県	25	愛媛県-1	51	東京都-2	25	東京都-2	51	愛媛県-1
	26	広島県	26	北海道-1	52	佐賀県-2	26	佐賀県-2	52	北海道-1

種目別組合せ表（競技順）

成年女子														
	12日(土)		13日(日)						14日(月)					
	ボルダー予選		リード予選						リード決勝		ボルダー決勝			
受付開始	8:20		9:40						7:00		13:00			
受付終了	9:20		10:40						8:00		14:00			
選手紹介・オブザベーション	10:00		—						8:45		14:40			
競技開始	10:20		11:40						9:00		15:00			
組合せ	競技順		Aルート競技順				Bルート競技順				競技順		競技順	
	1	岩手県	1	北海道-1	27	佐賀県-2	1	佐賀県-2	27	北海道-1	1		1	
	2	秋田県	2	長野県-1	28	秋田県-2	2	秋田県-2	28	長野県-1	2		2	
	3	山口県	3	福岡県-1	29	三重県-2	3	三重県-2	29	福岡県-1	3	予選成績	3	予選成績
	4	東京都	4	大阪府-1	30	愛媛県-2	4	愛媛県-2	30	大阪府-1	4	により	4	により
	5	沖縄県	5	千葉県-1	31	富山県-2	5	富山県-2	31	千葉県-1	5	1～8位	5	1～8位
	6	福岡県	6	神奈川県-1	32	山口県-2	6	山口県-2	32	神奈川県-1	6	まで	6	まで
	7	青森県	7	福井県-1	33	青森県-2	7	青森県-2	33	福井県-1	7		7	
	8	富山県	8	長崎県-1	34	滋賀県-2	8	滋賀県-2	34	長崎県-1	8		8	
	9	佐賀県	9	福島県-1	35	東京都-2	9	東京都-2	35	福島県-1				
	10	北海道	10	宮城県-1	36	愛知県-2	10	愛知県-2	36	宮城県-1				
	11	滋賀県	11	岩手県-1	37	兵庫県-2	11	兵庫県-2	37	岩手県-1				
	12	大阪府	12	沖縄県-1	38	石川県-2	12	石川県-2	38	沖縄県-1				
	13	愛知県	13	新潟県-1	39	山形県-2	13	山形県-2	39	新潟県-1				
	14	千葉県	14	佐賀県-1	40	北海道-2	14	北海道-2	40	佐賀県-1				
	15	神奈川県	15	秋田県-1	41	長野県-2	15	長野県-2	41	秋田県-1				
	16	愛媛県	16	三重県-1	42	福岡県-2	16	福岡県-2	42	三重県-1				
	17	新潟県	17	愛媛県-1	43	大阪府-2	17	大阪府-2	43	愛媛県-1				
	18	石川県	18	富山県-1	44	千葉県-2	18	千葉県-2	44	富山県-1				
	19	宮城県	19	山口県-1	45	神奈川県-2	19	神奈川県-2	45	山口県-1				
	20	福井県	20	青森県-1	46	福井県-2	20	福井県-2	46	青森県-1				
	21	三重県	21	滋賀県-1	47	長崎県-2	21	長崎県-2	47	滋賀県-1				
	22	山形県	22	東京都-1	48	福島県-2	22	福島県-2	48	東京都-1				
	23	長崎県	23	愛知県-1	49	宮城県-2	23	宮城県-2	49	愛知県-1				
	24	長野県	24	兵庫県-1	50	岩手県-2	24	岩手県-2	50	兵庫県-1				
	25	兵庫県	25	石川県-1	51	沖縄県-2	25	沖縄県-2	51	石川県-1				
	26	福島県	26	山形県-1	52	新潟県-2	26	新潟県-2	52	山形県-1				

種目別組合せ表（競技順）

少年男子												
	12日(土)								13日(日)	14日(月)		
	リード予選				リード決勝				ボルダー予選	ボルダー決勝		
受付開始	8:20				16:30				11:10	10:00		
受付終了	9:20				17:30				12:10	11:00		
選手紹介・ オブザベーション	—				18:15				12:50	11:40		
競技開始	10:20				18:30				13:10	12:00		
組 合 せ	Aルート競技順				Bルート競技順				競技順	競技順		競技順
	1	栃木県-1	27	山形県-2	1	山形県-2	27	栃木県-1	1	静岡県	1	
	2	山口県-1	28	岐阜県-2	2	岐阜県-2	28	山口県-1	2	岐阜県	2	
	3	三重県-1	29	新潟県-2	3	新潟県-2	29	三重県-1	3	予選成績	3	予選成績
	4	静岡県-1	30	愛知県-2	4	愛知県-2	30	静岡県-1	4	により	4	により
	5	茨城県-1	31	徳島県-2	5	徳島県-2	31	茨城県-1	5	1～8位	5	1～8位
	6	埼玉県-1	32	宮崎県-2	6	宮崎県-2	32	埼玉県-1	6	まで	6	まで
	7	東京都-1	33	鳥取県-2	7	鳥取県-2	33	東京都-1	7		7	
	8	北海道-1	34	神奈川県-2	8	神奈川県-2	34	北海道-1	8		8	
	9	岩手県-1	35	山梨県-2	9	山梨県-2	35	岩手県-1		9	岩手県	
	10	佐賀県-1	36	高知県-2	10	高知県-2	36	佐賀県-1		10	奈良県	
	11	奈良県-1	37	福岡県-2	11	福岡県-2	37	奈良県-1		11	神奈川県	
	12	群馬県-1	38	千葉県-2	12	千葉県-2	38	群馬県-1		12	山形県	
	13	兵庫県-1	39	石川県-2	13	石川県-2	39	兵庫県-1		13	徳島県	
	14	山形県-1	40	栃木県-2	14	栃木県-2	40	山形県-1		14	愛知県	
	15	岐阜県-1	41	山口県-2	15	山口県-2	41	岐阜県-1		15	栃木県	
	16	新潟県-1	42	三重県-2	16	三重県-2	42	新潟県-1		16	山口県	
	17	愛知県-1	43	静岡県-2	17	静岡県-2	43	愛知県-1		17	佐賀県	
	18	徳島県-1	44	茨城県-2	18	茨城県-2	44	徳島県-1		18	群馬県	
	19	宮崎県-1	45	埼玉県-2	19	埼玉県-2	45	宮崎県-1		19	石川県	
	20	鳥取県-1	46	東京都-2	20	東京都-2	46	鳥取県-1		20	兵庫県	
	21	神奈川県-1	47	北海道-2	21	北海道-2	47	神奈川県-1		21	三重県	
	22	山梨県-1	48	岩手県-2	22	岩手県-2	48	山梨県-1		22	山梨県	
	23	高知県-1	49	佐賀県-2	23	佐賀県-2	49	高知県-1		23	東京都	
	24	福岡県-1	50	奈良県-2	24	奈良県-2	50	福岡県-1		24	鳥取県	
	25	千葉県-1	51	群馬県-2	25	群馬県-2	51	千葉県-1		25	茨城県	
	26	石川県-1	52	兵庫県-2	26	兵庫県-2	52	石川県-1		26	北海道	

種目別組合せ表（競技順）

少年女子										
	12日(土)					13日(日)		14日(月)		
	リード予選					ボルダー予選	ボルダー決勝	リード決勝		
受付開始	8:20					7:00	15:20	10:30		
受付終了	9:20					8:00	16:20	11:30		
選手紹介・ オブザベーション	—					8:40	17:00	12:15		
競技開始	10:20					9:00	17:20	12:30		
組 合 せ	Aルート競技順			Bルート競技順			競技順	競技順		競技順
	1	長崎県-1	27	埼玉県-2	1	埼玉県-2	27	長崎県-1	1	大阪府
	2	宮崎県-1	27	東京都-2	2	東京都-2	27	宮崎県-1	2	熊本県
	3	熊本県-1	28	静岡県-2	3	静岡県-2	28	熊本県-1	3	奈良県
	4	秋田県-1	29	北海道-2	4	北海道-2	29	秋田県-1	4	佐賀県
	5	福岡県-1	30	愛媛県-2	5	愛媛県-2	30	福岡県-1	5	大分県
	6	千葉県-1	31	岩手県-2	6	岩手県-2	31	千葉県-1	6	徳島県
	7	山口県-1	32	佐賀県-2	7	佐賀県-2	32	山口県-1	7	愛媛県
	8	山形県-1	33	奈良県-2	8	奈良県-2	33	山形県-1	8	長野県
	9	徳島県-1	34	大阪府-2	9	大阪府-2	34	徳島県-1	9	秋田県
	10	高知県-1	35	大分県-2	10	大分県-2	35	高知県-1	10	千葉県
	11	長野県-1	36	香川県-2	11	香川県-2	36	長野県-1	11	高知県
	12	鹿児島県-1	37	鳥取県-2	12	鳥取県-2	37	鹿児島県-1	12	岩手県
	13	埼玉県-1	38	沖縄県-2	13	沖縄県-2	38	埼玉県-1	13	埼玉県
	14	東京都-1	39	長崎県-2	14	長崎県-2	39	東京都-1	14	東京都
	15	静岡県-1	40	宮崎県-2	15	宮崎県-2	40	静岡県-1	15	福岡県
	16	北海道-1	41	熊本県-2	16	熊本県-2	41	北海道-1	16	鹿児島県
	17	愛媛県-1	42	秋田県-2	17	秋田県-2	42	愛媛県-1	17	宮崎県
	18	岩手県-1	43	福岡県-2	18	福岡県-2	43	岩手県-1	18	北海道
	19	佐賀県-1	44	千葉県-2	19	千葉県-2	44	佐賀県-1	19	静岡県
	20	奈良県-1	45	山口県-2	20	山口県-2	45	奈良県-1	20	山形県
	21	大阪府-1	46	山形県-2	21	山形県-2	46	大阪府-1	21	沖縄県
	22	大分県-1	47	徳島県-2	22	徳島県-2	47	大分県-1	22	長崎県
	23	香川県-1	48	高知県-2	23	高知県-2	48	香川県-1	23	山口県
	24	鳥取県-1	49	長野県-2	24	長野県-2	49	鳥取県-1	24	香川県
	25	沖縄県-1	50	鹿児島県-2	25	鹿児島県-2	50	沖縄県-1	25	鳥取県

参加選手・監督一覧表

【成年男子】

◎印…監督

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名	都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
1 北海道	◎ 石井 昭彦 1 坂本 大河 2 竹内 悠真	旭川山岳会 北海道山岳・スポーツクライミング連盟 北海道教育大学	29 奈良県	◎ 奥畑 勝康 1 西田 秀聖 2 坂井 亮瑛	キーボルドリング 天理大学 摂南大学
2 青森県	◎ 玉利 成昌 1 松沢 修斗 2 浦崎 宏也	青森県山岳連盟 ツケ RAT ツケ RAT	30 和歌山県	◎ 井上 忠史 1 迫田 樹波 2 西浦 暖礎	三菱電機(株) 冷熱システム製作所 海南市消防本部 和歌山県山岳連盟
4 宮城県	◎ 竹田 知広 1 佐々木美怜 2 竹田 創	東北大学(教) 東北文化学園大学 日本体育大学	31 鳥取県	◎ 桑本 洋志 1 高田 知堯 2 河上 紘輝	(株)JA 中央サービス琴浦自動車センター 公益財団法人鳥取県スポーツ協会 公益財団法人鳥取県スポーツ協会
9 栃木県	◎ 藤沼 秀行 1 川又 玲瑛 2 齋藤 正樹	栃木県山岳・スポーツクライミング連盟 B-pump 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟	32 島根県	◎ 落合 浩司 1 阪井 貴登 2 阪井佑治郎	島根イーグル(株) 農村エナジー(株) 島根県山岳連盟
11 埼玉県	◎ 川端久美子 1 鶴 隼斗 2 猪鼻 碧人	株式会社鷺宮製作所 株式会社 Base Camp 武蔵大学	33 岡山県	◎ 多久 英作 1 小福田 透 2 本岡 優斗	三菱ガス化学(株) 日本電子(株) 中国電力ネットワーク(株)
13 東京都	◎ 大高 伽弥 1 上村 悠樹 2 上原 玄武	ベースキャンプ 日本大学 東京農工大学	34 広島県	◎ 延近 昌彦 1 延近陸空斗 2 升田 葉	広島化成株式会社 倉敷芸術科学大学 立命館大学
16 新潟県	◎ 田中 勉 1 田中 修太 2 渡辺 颯海	東日本電気エンジニアリング株式会社 大器株式会社 新潟大学	35 山口県	◎ 川原喜代美 1 石津 元崇 2 村田 昊輝	山口県山岳・スポーツクライミング連盟 周南公立大学 福岡市消防局
20 福井県	◎ 佐伯 和真 1 庭 叶人 2 堀川 裕生	日栄商事(株) 福井支店 福井県山岳連盟 福井県山岳連盟	36 香川県	◎ 鈴木 琢真 1 山地 舞空 2 鈴木 陽生	讃岐化学工業(株) 筒井工業株式会社 山口大学
23 三重県	◎ 田嶋 則之 1 渡部 桂太 2 田嶋 瑞貴	三重県山岳・スポーツクライミング連盟 三重県山岳・スポーツクライミング連盟 三重県山岳・スポーツクライミング連盟	38 愛媛県	◎ 青木 亮二 1 清水 裕登 2 大政 涼	アスリートサポートジャパン 愛媛県競技力向上対策本部 松山大学
25 滋賀県	◎ 土谷 祐輝 1 亀山 凌平 2 濱田 健介	京栄ニチュ株式会社 公益財団法人滋賀県スポーツ協会 滋賀県山岳連盟	40 福岡県	◎ 江上 泰浩 1 雪丸 周平 2 吉岡 竜紘	(株)タカギ (株)熊五郎 九州産業大学
26 京都府	◎ 奥井 健吾 1 本郷 真一 2 宮本 流星	株式会社アド・コム 株式会社 GS ユアサ 日本セーフティー株式会社	41 佐賀県	◎ 平川 直徳 1 樋口 純裕 2 中上 太斗	唐津郵便局かんぽサービス部 クライミングジム PUMP2 Team SAGA SSP
27 大阪府	◎ 山田 航 1 三根生慶太 2 山口 賢人	ヤマテック・クライミング 同志社大学 一般社団法人大阪府山岳連盟	42 長崎県	◎ 尾形 和俊 1 古賀 楓 2 高柳 結希	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 明治大学 長崎県山岳・スポーツクライミング連盟
28 兵庫県	◎ 方山 文生 1 松岡 玲央 2 渡辺 隼	兵庫県山岳連盟 同志社大学 兵庫県山岳連盟	46 鹿児島県	◎ 江口 智 1 土肥 圭太 2 川畑イサム	鹿児島県立出水高等学校(教) 鹿児島県山岳・スポーツクライミング連盟 鹿児島県山岳・スポーツクライミング連盟

【成年女子】

◎印…監督

都道府県名 県番号		氏 名	勤務先・学校名	都道府県名 県番号		氏 名	勤務先・学校名
1	北海道	◎ 吉田亜紀子 1 吉田 ゆな 2 上原子音羽	北海道山岳・スポーツクライミング連盟 北海道医療大学 国士舘大学	19	石川県	◎ 林 昭男 1 鍋田 華音 2 武田 小夏	石川県山岳・スポーツクライミング協会 石川県山岳・スポーツクライミング協会 大同工業株式会社
2	青森県	◎ 成田 純也 1 今井 春菜 2 天間 光	ツケ RAT ツケ RAT ツケ RAT	20	福井県	◎ 北市 麻希 1 廣重 幸紀 2 齊藤 小夏	(株)大同ゼネラルサービス フィッシュ&バード 法政大学
3	岩手県	◎ 畠山 晃 1 金澤 千怜 2 大湯 凜	矢巾町立煙山小学校(教) 有限会社金沢製作所 東北大学	22	愛知県	◎ 伊藤 孝雄 1 倉 菜々子 2 有川 紗菜	小牧市消防署 新東工業株式会社 至学館大学
4	宮城県	◎ 佐藤 優哉 1 佐藤 涼香 2 高橋 美音	宮城県山岳連盟 宮城県山岳連盟 順天堂大学	23	三重県	◎ 小林 春彦 1 柏 綾音 2 小林 舞	株式会社 LIXIL 三重県山岳・スポーツクライミング連盟 三重県山岳・スポーツクライミング連盟
5	秋田県	◎ 松本 俊之 1 菅原 弘乃 2 鈴木 優喜	株式会社松本カーコーポレーション 秋田大学 株式会社アイバンクデザイン	25	滋賀県	◎ 橋山 武志 1 石井 未来 2 張替 夢乃	ブリヂストンプラントエンジニアリング株式会社 公益財団法人滋賀県スポーツ協会 公益財団法人滋賀県スポーツ協会
6	山形県	◎ 工藤 秀之 1 工藤 空 2 工藤 花	山形市役所 女子栄養大学 日本大学	27	大阪府	◎ 堀 智忠 1 中川 瑠 2 小田 穂香	株式会社中野自動車 日本大学 摂南大学
7	福島県	◎ 國分 一樹 1 氏家沙耶香 2 滝口 萌	MOVEMENT Climbing Space 公益財団法人星総合病院 福島医療専門学校	28	兵庫県	◎ 東西裕佳理 1 阪上 和香 2 櫛木あかね	神戸市立葺合高等学校(教) 関西学院大学 兵庫県立あわじ特別支援学校(教)
12	千葉県	◎ 阿部 雅史 1 二宮 凜 2 竹内 亜衣	千葉県立幕張総合高等学校(教) 日本女子大学 筑波大学	35	山口県	◎ 伊豆田希有子 1 大田 理娑 2 吉田 清華	山口県山岳・スポーツクライミング連盟 山口県山岳・スポーツクライミング連盟 山口市消防本部
13	東京都	◎ 武田 尚子 1 青柳 未愛 2 柿崎 未羽	東京都山岳連盟 日本大学 早稲田大学	38	愛媛県	◎ 松本雄太郎 1 相原麻菜美 2 川端 日菜	丸住製紙株式会社 聖カタリナ大学 株式会社ウイン
14	神奈川県	◎ 仲村 賀央 1 伊東 そら 2 菅原 亜弥	日本調剤(株) 神奈川県山岳連盟 青山学院大学	40	福岡県	◎ 佐藤 寿志 1 井上 葉水 2 田島 瑞歩	日之出水道機器(株) 九州産業大学 久留米大学
16	新潟県	◎ 栗田 陽輔 1 栗田 湖有 2 小林 夏寧	有限会社広和建設 駒澤大学 新潟日建工科専門学校	41	佐賀県	◎ 陣内 健太 1 大河内芹香 2 樋口 結花	医療法人ひらまつ病院 Team SAGA SSP 医療法人ひらまつ病院
17	長野県	◎ 橋詰 正興 1 三森 里子 2 中嶋 諒	(有)鳥喜代 エッジ&ソファ-伊那クライムワンダーランド 神奈川大学	42	長崎県	◎ 竹田 昭子 1 原田 朝美 2 林田 ひよ	(公財)長崎県健康事業団 長崎県山岳・スポーツクライミング連盟 鎮西学院大学
18	富山県	◎ 中橋 沙羅 1 吉岡 優季 2 大島 早瑛	桜ヶ池クライミングセンター 富山県山岳連盟 富山県山岳連盟	47	沖縄県	◎ 松田 順子 1 松田 喜々 2 島袋 玲奈	琉球大学(教) 沖縄県山岳・スポーツクライミング連盟 沖縄県山岳・スポーツクライミング連盟

【少年男子】

◎印…監督

都道府県名 県番号		氏 名	勤務先・学校名	都道府県名 県番号		氏 名	勤務先・学校名
1	北海道	◎ 國谷 斗馬 1 田中 岳 2 荒川 翔哉	グラビティリサーチ札幌 札幌龍谷学園高等学校 北海道札幌白石高等学校	21	静岡県	◎ 諸戸 明 1 船越 琉生 2 宮川 幸大	静岡県立富士高等学校(教) 静岡県立静岡西高等学校 静岡市立清水第一中学校
3	岩手県	◎ 館岡 瑛 1 本明 佳 2 平瀬 太誠	岩手県庁 岩手県立水沢高等学校 岩手県立水沢高等学校	22	愛知県	◎ 野中 良樹 1 三宅 創樹 2 中田 凱斗	大洋荷役株式会社 名古屋市立高針台中学校 豊川高等学校
6	山形県	◎ 栗田 秀信 1 青山 輝星 2 栗田 瑛真	陸上自衛隊第六師団第 20 普通科連隊 山形県立東桜学館高等学校 東北文教大学山形城北高等学校	23	三重県	◎ 濱松 正行 1 杉本 侑翼 2 小山 楚嵐	名張市立病院 近畿大学工業高等専門学校 名張市立北中学校
8	茨城県	◎ 佐藤 正彦 1 佐藤 悠織 2 飯田 大斗	茨城県企業局県西水道事務所 茨城県立水戸工業高等学校 茨城県立牛久高等学校	24	岐阜県	◎ 邨瀬 一弘 1 林 晃佑 2 前田 唯月	サンワ産業株式会社 各務原市立蘇原中学校 岐阜聖徳学園高等学校
9	栃木県	◎ 勅使河原暁 1 寺川 陽 2 船木 陽	(株) オートテックジャパン 栃木県立さくら清修高等学校 栃木県立矢板東高等学校	28	兵庫県	◎ 藏敷 竜治 1 藏敷 慎人 2 隅谷 樂	兵庫県山岳連盟 箕面自由学園高等学校 国立明石工業高等専門学校
10	群馬県	◎ 岩崎 年伸 1 下田 悠太 2 結城 志音	群馬県立渋川工業高等学校(教) 群馬県立渋川工業高等学校 太田市立北の杜学園	29	奈良県	◎ 西田 登 1 田渕 幹規 2 原田 宙	建築板金 信聖興業 上宮高等学校 奈良市立富雄第三中学校
11	埼玉県	◎ 池田 俊吾 1 山田 航大 2 長森 晴	株式会社 Base Camp 埼玉県立久喜北陽高等学校 N 高等学校	31	鳥取県	◎ 瀬戸 啓太 1 山根 柊馬 2 藤田 楓	鳥取中部ふるさと広域連合消防局 鳥取県立米子西高等学校 鳥取城北高等学校
12	千葉県	◎ 安楽 武志 1 志水 彬 2 中島凌太郎	株式会社ファソテック 敬愛学園高等学校 市川高等学校	35	山口県	◎ 仲間 勇貴 1 宮崎 伊織 2 吉本 一敬	富士商株式会社 山口県立防府高等学校 宇部市立上宇部中学校
13	東京都	◎ 柿崎 暢 1 上原 一剣 2 笹原 蓉翠	東京都山岳連盟 東京都立西高等学校 東京都立篠崎高等学校	37	徳島県	◎ 大北 正 1 増田 凜世 2 中山 勇希	東芝インフラシステムズ(株) 阿南工業高等専門学校 蒼開高等学校
14	神奈川県	◎ 大谷 拓海 1 角田 暁 2 濱田 琉誠	(株) AVILEN 向上高等学校 県立鎌倉高等学校	39	高知県	◎ 山本 隆志 1 和田 樹怜 2 角 泰知	高知県山岳連盟 高知県山岳連盟 高知県山岳連盟
15	山梨県	◎ 樽林 秀倫 1 手塚 凜空 2 中野 翔太	山梨県山岳連盟 山梨県立日川高等学校 甲斐市立竜王中学校	40	福岡県	◎ 白水 明美 1 宮原 聖 2 竹下慎太郎	森のぼかばか保育園 東福岡高等学校 筑前町立夜須中学校
16	新潟県	◎ 大月英理香 1 伊藤 英視 2 島田 琥鉄	株式会社小嶋屋総本店 新潟県立新潟北高校 新潟県立高田北城高校	41	佐賀県	◎ 通谷 明德 1 通谷 律 2 通谷 結太	株式会社名村造船所 佐賀県立多久高等学校 佐賀県立多久高等学校
19	石川県	◎ 佐々木 拓 1 梨野 琥晴 2 佐々木亮太郎	白山市立松陽小学校(教) 星稜高等学校 石川県立工業高等学校	45	宮崎県	◎ 富山 憲一 1 兼城伸太郎 2 富山 翔太	門川町教育委員会 クラーク記念国際高等学校 学校法人延岡学園 尚学館高等部

【少年女子】

◎印…監督

都道府県名 県番号		氏 名	勤務先・学校名	都道府県名 県番号		氏 名	勤務先・学校名
1	北海道	◎ 酒井美代子 1 清水陽菜乃 2 酒井 雪羽	北海道山岳・スポーツクライミング連盟 北海道高等学校 北海道小樽桜陽高等学校	36	香川県	◎ 西尾さとみ 1 平野 千彩 2 川越 咲音	クリエ・ロジプラス 県立高松工芸高等学校 県立丸亀高等学校
3	岩手県	◎ 昆 脩太 1 中村 暖 2 佐藤 凜歩	岩手県立県北青少年の家 岩手県立盛岡南高等学校 岩手県立盛岡第一高等学校	37	徳島県	◎ 日高 一輝 1 増田 心瑚 2 西川 美愛	桑野産業(株) 阿南工業高等専門学校 板野中学校
5	秋田県	◎ 斉藤 元 1 木元 柚寧 2 木元 彩寧	株式会社石井スポーツ 秋田県立大曲農業高等学校 大仙市立大曲中学校	38	愛媛県	◎ 毛利 正光 1 橋本 心愛 2 渡邊 奏奈	宇和島市役所 愛媛県立丹原高等学校 松山市立垣生中学校
6	山形県	◎ 野間 共美 1 渡邊 結 2 安達 心暖	山形県山岳連盟 山形市立第八中学校 山形県立東桜学館高等学校	39	高知県	◎ 伊藤 拓人 1 牧尾 花心 2 三谷 彩葉	高知県山岳連盟 高知県山岳連盟 高知県山岳連盟
11	埼玉県	◎ 池田 弥沙 1 武石 初音 2 金子 千優	パーソルテンプスタッフ株式会社 わせがく夢育高等学校 中央大学付属高等学校	40	福岡県	◎ 富久 勝司 1 太田 雪菜 2 竹下小百合	(株)ワタケン 博多高等学校 福岡県立博多清松高等学校
12	千葉県	◎ 田中 星司 1 萩原 香月 2 村杉 汐里	アストラ☆クライミング 千葉県立船橋東高等学校 千葉県立幕張総合高等学校	41	佐賀県	◎ 丸本かおり 1 梶 絢香 2 久我 心結	佐賀県山岳・スポーツク ライミング連盟 佐賀県立多久高等学校 佐賀大学教育学部附属中学校
13	東京都	◎ 渋谷 愛 1 松浦 朱希 2 山崎 彩葉	東京都山岳連盟 東京都山岳連盟 足立区立第九中学校	42	長崎県	◎ 安達 淳子 1 古賀 日和 2 長崎 恋羽	長崎県立諫早特別支援学校(教) 長崎県立長崎北高等学校 長崎県立長崎北高等学校
17	長野県	◎ 橋本 今史 1 山田 泉都 2 徳嵩 悠乃	ウエルシア薬局株式会社 松本美須ヶヶ丘高等学校 東京都市大学塩尻高等学校	43	熊本県	◎ 松永 美穂 1 奥園 彩羽 2 奥村 早瑛	(有)フォーレスト・フィールド参道薬局 熊本学園大学付属高等学校 熊本国府高等学校
21	静岡県	◎ 岩田 幸裕 1 永嶋美智華 2 狩野 凪	浜松学芸高等学校(教) 静岡県立静岡西高等学校 浜松学芸高等学校	44	大分県	◎ 三重野 敦 1 中島 夕結 2 清末 侑見	大分県山岳連盟 大分市立滝尾中学校 中津市立緑ヶ丘中学校
27	大阪府	◎ 中貝 次郎 1 金木 そら 2 横道 花凜	ナカガイクライミング株式会社 大阪府立高槻北高校 枚方市立東香里中学校	45	宮崎県	◎ 福元 敏行 1 西田 凜花 2 林 瑠李汐	社会福祉法人 げんきこすもす 日向市立日向中学校 県立宮崎商業高等学校
29	奈良県	◎ 抜井 英嗣 1 藤村 侃奈 2 抜井 美緒	太洋エンジニアリング株式会社 奈良県立青翔高等学校 奈良県立香芝高等学校	46	鹿児島県	◎ 沼田 美香 1 後藤 好海 2 沼田 紗良	鹿児島県山岳・スポーツクライミング連盟 鹿児島市立城西中学校 姶良市立重富中学校
31	鳥取県	◎ 西田 海斗 1 北川ひかり 2 福光 蒼里	鳥取中部ふさと広域連合消防局 倉吉消防署 鳥取県立倉吉東高等学校 鳥取県立鳥取中央英高等学校	47	沖縄県	◎ 細川 浩 1 島袋 夢愛 2 押鐘みなみ	沖縄県山岳・スポーツクライミング連盟 沖縄県立具志川高等学校 豊見城市立伊良波中学校
35	山口県	◎ 山縣 茜 1 浜崎 恋羽 2 橋尾 芽依	山口県立農業大学校(職) 山口県桜ヶ丘高等学校 聖光高等学校				

総合成績決定方法と手順

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県に第1位から8位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

（1）競技得点

各種目とも、1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。ただし、同点の場合は、その順位を共有し次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

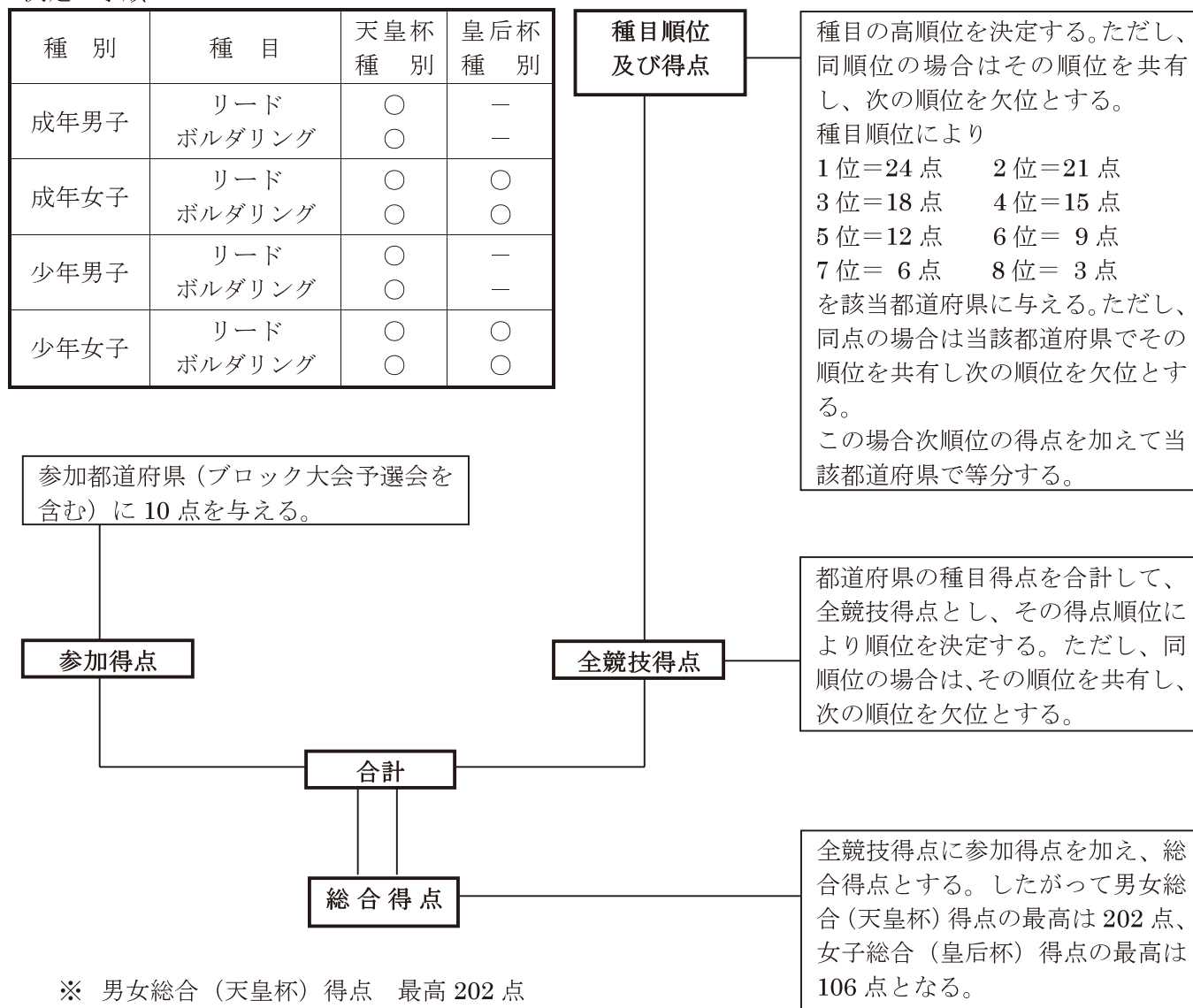
（2）参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

詳細は、JSPOが定める「大会参加得点の考え方について」（令和6年4月1日改正）のとおり。

決定の手順



種目得点表

【成年男子】

区 分 都道府県		リード			ボルダー		
		得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道						
2	青森県						
3	岩手県						
4	宮城県						
5	秋田県						
6	山形県						
7	福島県						
8	茨城県						
9	栃木県						
10	群馬県						
11	埼玉県						
12	千葉県						
13	東京都						
14	神奈川県						
15	山梨県						
16	新潟県						
17	長野県						
18	富山県						
19	石川県						
20	福井県						
21	静岡県						
22	愛知県						
23	三重県						
24	岐阜県						
25	滋賀県						
26	京都府						
27	大阪府						
28	兵庫県						
29	奈良県						
30	和歌山県						
31	鳥取県						
32	島根県						
33	岡山県						
34	広島県						
35	山口県						
36	香川県						
37	徳島県						
38	愛媛県						
39	高知県						
40	福岡県						
41	佐賀県						
42	長崎県						
43	熊本県						
44	大分県						
45	宮崎県						
46	鹿児島県						
47	沖縄県						

【成年女子】

区 分 都道府県		リード			ボルダー		
		得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道						
2	青森県						
3	岩手県						
4	宮城県						
5	秋田県						
6	山形県						
7	福島県						
8	茨城県						
9	栃木県						
10	群馬県						
11	埼玉県						
12	千葉県						
13	東京都						
14	神奈川県						
15	山梨県						
16	新潟県						
17	長野県						
18	富山県						
19	石川県						
20	福井県						
21	静岡県						
22	愛知県						
23	三重県						
24	岐阜県						
25	滋賀県						
26	京都府						
27	大阪府						
28	兵庫県						
29	奈良県						
30	和歌山県						
31	鳥取県						
32	島根県						
33	岡山県						
34	広島県						
35	山口県						
36	香川県						
37	徳島県						
38	愛媛県						
39	高知県						
40	福岡県						
41	佐賀県						
42	長崎県						
43	熊本県						
44	大分県						
45	宮崎県						
46	鹿児島県						
47	沖縄県						

【少年男子】

区 分 都道府県				リード			ボルダー		
				得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道								
2	青森県								
3	岩手県								
4	宮城県								
5	秋田県								
6	山形県								
7	福島県								
8	茨城県								
9	栃木県								
10	群馬県								
11	埼玉県								
12	千葉県								
13	東京都								
14	神奈川県								
15	山梨県								
16	新潟県								
17	長野県								
18	富山県								
19	石川県								
20	福井県								
21	静岡県								
22	愛知県								
23	三重県								
24	岐阜県								
25	滋賀県								
26	京都府								
27	大阪府								
28	兵庫県								
29	奈良県								
30	和歌山県								
31	鳥取県								
32	島根県								
33	岡山県								
34	広島県								
35	山口県								
36	香川県								
37	徳島県								
38	愛媛県								
39	高知県								
40	福岡県								
41	佐賀県								
42	長崎県								
43	熊本県								
44	大分県								
45	宮崎県								
46	鹿児島県								
47	沖縄県								

【少年女子】

区 分 都道府県				リード			ボルダー		
				得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1	北海道								
2	青森県								
3	岩手県								
4	宮城県								
5	秋田県								
6	山形県								
7	福島県								
8	茨城県								
9	栃木県								
10	群馬県								
11	埼玉県								
12	千葉県								
13	東京都								
14	神奈川県								
15	山梨県								
16	新潟県								
17	長野県								
18	富山県								
19	石川県								
20	福井県								
21	静岡県								
22	愛知県								
23	三重県								
24	岐阜県								
25	滋賀県								
26	京都府								
27	大阪府								
28	兵庫県								
29	奈良県								
30	和歌山県								
31	鳥取県								
32	島根県								
33	岡山県								
34	広島県								
35	山口県								
36	香川県								
37	徳島県								
38	愛媛県								
39	高知県								
40	福岡県								
41	佐賀県								
42	長崎県								
43	熊本県								
44	大分県								
45	宮崎県								
46	鹿児島県								
47	沖縄県								

綜合成績一覽表

[illegible][illegible]

過去の成績一覧表（天皇杯・皇后杯順位）

開催県	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
	区分								
第 54 回 (熊本県)	天皇杯	熊本県	広島県	山口県	長崎県	京都府	福島県	三重県	岩手県
	皇后杯	熊本県	京都府	山口県	三重県	福島県 広島県	・ ・ ・ ・	宮城県 長崎県	・ ・ ・ ・
第 55 回 (富山県)	天皇杯	富山県	京都府	広島県	山口県	岩手県	静岡県	神奈川県	福島県
	皇后杯	富山県	京都府	広島県	山口県	東京都	福島県	大阪府 長崎県	・ ・ ・ ・
第 56 回 (宮城県)	天皇杯	宮城県	福島県	京都府	神奈川県	山口県	長崎県	岩手県 広島県	・ ・ ・ ・
	皇后杯	宮城県	京都府	福島県	広島県	長崎県	神奈川県 富山県	・ ・ ・ ・	山口県
第 57 回 (高知県)	天皇杯	山口県	静岡県	京都府	岩手県	神奈川県	千葉県 東京都 高知県	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
	皇后杯	京都府	東京都 高知県	・ ・ ・ ・	山口県	千葉県	神奈川県 広島県	・ ・ ・ ・	山形県 香川県
第 58 回 (静岡県)	天皇杯	静岡県	千葉県 京都府	・ ・ ・ ・	鳥取県	熊本県	新潟県 大阪府	・ ・ ・ ・	神奈川県 山口県 長崎県
	皇后杯	静岡県	京都府	熊本県	鳥取県	長崎県	茨城県 千葉県 岡山県 山口県	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
第 59 回 (埼玉県)	天皇杯	埼玉県	長崎県	千葉県	神奈川県	京都府 鳥取県	・ ・ ・ ・	北海道	茨城県 山口県
	皇后杯	埼玉県	京都府	長崎県	千葉県	鳥取県 山口県	・ ・ ・ ・	北海道 神奈川県	・ ・ ・ ・
第 60 回 (岡山県)	天皇杯	岡山県	千葉県	京都府	長崎県	宮城県	鳥取県	熊本県	愛知県 山口県
	皇后杯	京都府	岡山県	千葉県	長崎県	鳥取県 山口県	・ ・ ・ ・	熊本県	兵庫県
第 61 回 (兵庫県)	天皇杯	兵庫県	千葉県	秋田県	京都府	宮城県	神奈川県	高知県 長崎県	・ ・ ・ ・
	皇后杯	千葉県 兵庫県 高知県	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	秋田県 熊本県	・ ・ ・ ・	宮城県 長崎県	・ ・ ・ ・	北海道 鳥取県
第 62 回 (秋田県)	天皇杯	宮城県 秋田県	・ ・ ・ ・	長崎県	鳥取県	山口県	千葉県 静岡県	・ ・ ・ ・	神奈川県
	皇后杯	山口県 長崎県	・ ・ ・ ・	宮城県 秋田県	・ ・ ・ ・	静岡県	千葉県 鳥取県 熊本県	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
第 63 回 (大分県)	天皇杯	宮城県	千葉県	北海道	山口県	神奈川県	佐賀県	茨城県	愛知県
	皇后杯	茨城県	山口県	富山県	北海道	宮城県	愛知県	埼玉県	大分県
第 64 回 (新潟県)	天皇杯	千葉県	宮城県	茨城県	山口県	神奈川県	大阪府	栃木県	北海道 長野県
	皇后杯	茨城県	山口県	千葉県	宮城県	大阪府	山梨県	神奈川県	静岡県
第 65 回 (千葉県)	天皇杯	千葉県	宮城県	山口県	北海道	神奈川県	山梨県	埼玉県	栃木県 岡山県
	皇后杯	千葉県	山口県	宮城県	茨城県 大阪府	・ ・ ・ ・	埼玉県 神奈川県	・ ・ ・ ・	北海道 岩手県 山梨県 兵庫県

順 開 催 県	位 区 分	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
第 66 回 (山口県)	天皇杯	千葉県	山口県	長崎県	岐阜県	北海道 兵庫県	・ ・ ・ ・ ・	茨城県 東京都 岡山県 広島県	・ ・ ・ ・ ・
	皇后杯	山口県	千葉県	岐阜県	兵庫県	長崎県	東京都	北海道 福岡県	・ ・ ・ ・ ・
第 67 回 (岐阜県)	天皇杯	千葉県	北海道	山口県	埼玉県	岐阜県	栃木県 長崎県	・ ・ ・ ・ ・	長野県
	皇后杯	千葉県	北海道	茨城県 埼玉県 岐阜県	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	兵庫県 山口県	・ ・ ・ ・ ・	栃木県
第 68 回 (東京都)	天皇杯	埼玉県 東京都	・ ・ ・ ・ ・	千葉県	山口県	北海道	長崎県	長野県 三重県	・ ・ ・ ・ ・
	皇后杯	東京都	山口県	北海道 三重県	・ ・ ・ ・ ・	埼玉県	千葉県	栃木県	山梨県
第 69 回 (長崎県)	天皇杯	千葉県	三重県	岐阜県	山口県	北海道 大阪府	・ ・ ・ ・ ・	埼玉県 長野県 長崎県	・ ・ ・ ・ ・
	皇后杯	千葉県	長崎県 三重県	・ ・ ・ ・ ・	宮城県 東京都	・ ・ ・ ・ ・	山口県	山梨県 岐阜県	・ ・ ・ ・ ・
第 70 回 (和歌山県)	天皇杯	埼玉県	山口県	千葉県	長崎県	北海道	大阪府	栃木県	福岡県 佐賀県
	皇后杯	長崎県	埼玉県	愛知県	山口県	東京都	千葉県 静岡県 鳥取県	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
第 71 回 (岩手県)	天皇杯	埼玉県	茨城県	長崎県	千葉県	大阪府	岩手県 鳥取県	・ ・ ・ ・ ・	東京都
	皇后杯	長崎県	埼玉県	茨城県	鳥取県	山口県	東京都	宮城県 千葉県 大阪府	・ ・ ・ ・ ・
第 72 回 (愛媛県)	天皇杯	埼玉県	大阪府	東京都	福岡県	福井県 愛知県	・ ・ ・ ・ ・	岩手県 栃木県	・ ・ ・ ・ ・
	皇后杯	東京都	福井県	岩手県	山口県	大阪府	北海道 愛知県	・ ・ ・ ・ ・	三重県 長崎県
第 73 回 (福井県)	天皇杯	茨城県	埼玉県	福井県	東京都	神奈川県	大阪府	栃木県 愛知県	・ ・ ・ ・ ・
	皇后杯	茨城県	東京都	福井県	大阪府	愛知県 三重県 長崎県	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	神奈川県
第 74 回 (茨城県)	天皇杯	茨城県	埼玉県	愛知県	東京都 岐阜県	・ ・ ・ ・ ・	大阪府	北海道	福井県
	皇后杯	茨城県	東京都 愛知県	・ ・ ・ ・ ・	大阪府	福島県	埼玉県	山口県	福井県 長崎県
第 75 回 (鹿児島県)	天皇杯	延 期							
	皇后杯								
第 76 回 (三重県)	天皇杯	中 止							
	皇后杯								
第 77 回 (栃木県)	天皇杯	千葉県	東京都	栃木県	大阪府	佐賀県	茨城県	三重県	埼玉県
	皇后杯	千葉県	埼玉県 東京都	・ ・ ・ ・ ・	茨城県 静岡県 大阪府	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	福井県	佐賀県
特 別 (鹿児島県)	天皇杯	佐賀県	東京都	大阪府	奈良県	栃木県	埼玉県	三重県	愛知県
	皇后杯	東京都	大阪府	埼玉県 愛知県	・ ・ ・ ・ ・	佐賀県	静岡県 三重県	・ ・ ・ ・ ・	茨城県 滋賀県

過去の成績一覧表（種別・種目別順位）

区		分		1 位			2 位			3 位		
第 54 回 (熊本県)	種 別		成年男子	熊 本 県	岩 手 県	山 口 県	口 重 島 県	山 三 福 長 京 都 府	山 三 福 長 京 都 府	山 三 福 長 京 都 府		
			成年女子	熊 本 県	岩 手 県	山 口 県	口 重 島 県	山 三 福 長 京 都 府	山 三 福 長 京 都 府	山 三 福 長 京 都 府		
			少年男子	熊 本 県	岩 手 県	山 口 県	口 重 島 県	山 三 福 長 京 都 府	山 三 福 長 京 都 府	山 三 福 長 京 都 府		
			少年女子	山 口 県	熊 本 県	岩 手 県	山 口 県	口 重 島 県	山 三 福 長 京 都 府	山 三 福 長 京 都 府		
	種目別		成年男子	群 馬 県	福 島 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県		
			成年女子	群 馬 県	福 島 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県		
			少年男子	群 馬 県	福 島 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県		
			少年女子	群 馬 県	福 島 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県		
種目別		成年男子	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県			
		成年女子	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県			
		少年男子	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県			
		少年女子	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県			
種目別		成年男子	埼 玉 県	千 葉 県	岩 手 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県			
		成年女子	埼 玉 県	千 葉 県	岩 手 県	山 口 県	熊 本 県	山 口 県	熊 本 県			
		種 別		成年男子	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県		
				成年女子	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県		
少年男子	富 山 県			山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県				
少年女子	富 山 県			山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県				
種目別		成年男子	群 馬 県	神 奈 川 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県				
		成年女子	群 馬 県	神 奈 川 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県				
		少年男子	群 馬 県	神 奈 川 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県				
		少年女子	群 馬 県	神 奈 川 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県				
種目別		成年男子	長 崎 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県				
		成年女子	長 崎 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県				
		少年男子	長 崎 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県				
		少年女子	長 崎 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県				
種目別		成年男子	埼 玉 県	石 川 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県				
		成年女子	埼 玉 県	石 川 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県				
		種 別		成年男子	福 宮 県	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県			
				成年女子	福 宮 県	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県			
少年男子	福 宮 県			岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県					
少年女子	福 宮 県			岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県					
種目別		成年男子	福 宮 県	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県					
		成年女子	福 宮 県	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県					
		少年男子	福 宮 県	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県					
		少年女子	福 宮 県	岩 手 県	山 口 県	山 口 県	山 口 県					
種目別		成年男子	宮 城 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県					
		成年女子	宮 城 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県					
		少年男子	宮 城 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県					
		少年女子	宮 城 県	福 井 県	群 馬 県	群 馬 県	群 馬 県					
種目別		成年男子	埼 玉 県	千 葉 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県					
		成年女子	埼 玉 県	千 葉 県	大 分 県	大 分 県	大 分 県					

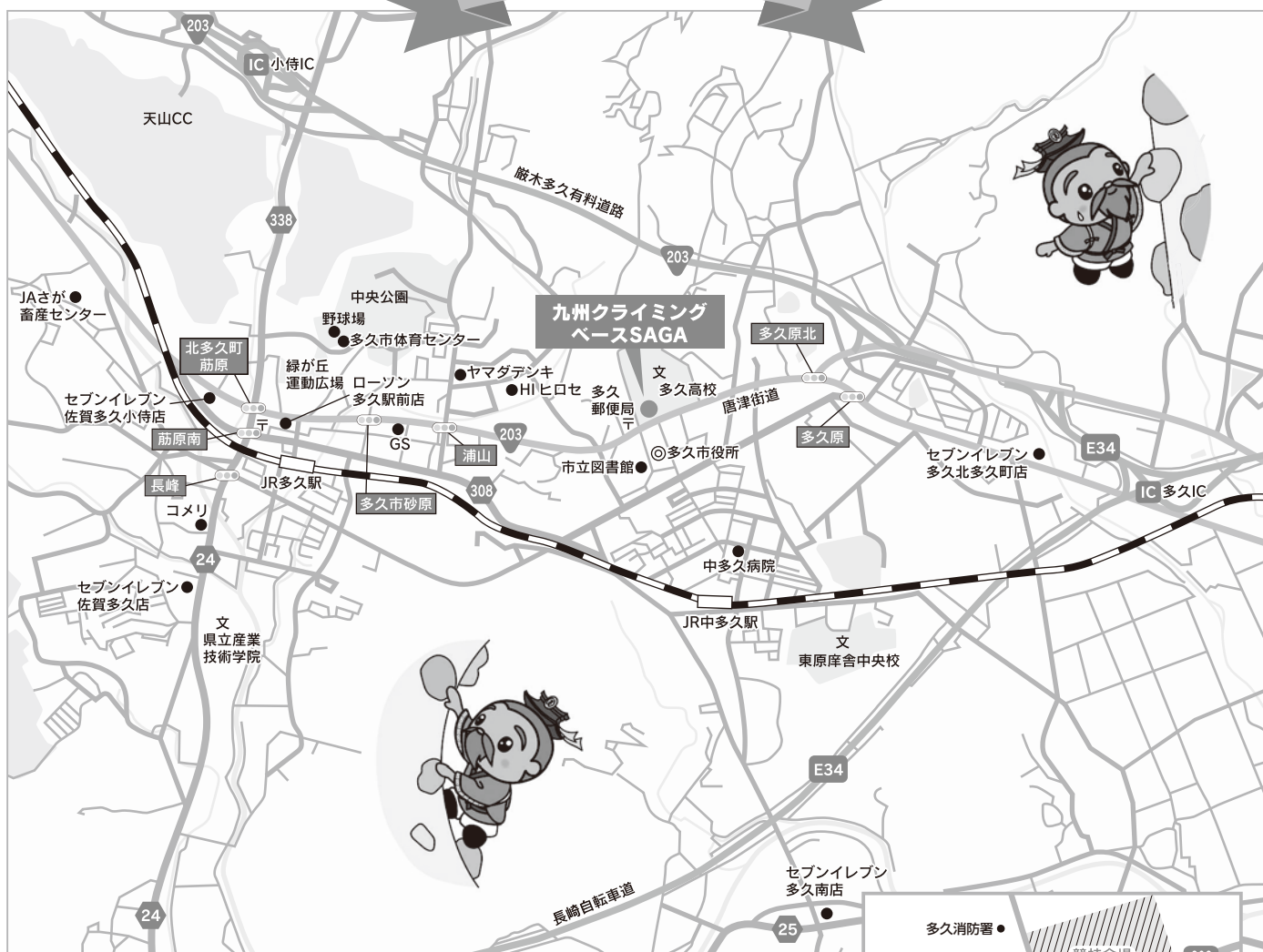
区 分		1 位			2 位			3 位		
第 57 回 (高知県)	種 別	成年男子	福 島 県	東京 京都府	静 岡 県	・ 静 岡 県	山 口 県	神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
		成年女子	東京 山 口 県	京都府	静 岡 県	・ 静 岡 県	山 口 県	神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
		少年男子	東京 山 口 県	京都府	静 岡 県	・ 静 岡 県	山 口 県	神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
		少年女子	東京 山 口 県	京都府	静 岡 県	・ 静 岡 県	山 口 県	神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
	種 目 別	縦走競技	成年男子	神 奈 川 県	群馬 馬 県	高 知 県	岩 手 県	福 神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
			成年女子	神 奈 川 県	群馬 馬 県	高 知 県	岩 手 県	福 神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
			少年男子	神 奈 川 県	群馬 馬 県	高 知 県	岩 手 県	福 神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
			少年女子	神 奈 川 県	群馬 馬 県	高 知 県	岩 手 県	福 神 奈 川 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
		クライミング 競技	成年男子	千 葉 県	大 阪 府	東 山 口 県	静 岡 県	大 崎 静 岡 県	玉 岡 賀 都 府	府 府
			成年女子	千 葉 県	大 阪 府	東 山 口 県	静 岡 県	大 崎 静 岡 県	玉 岡 賀 都 府	府 府
			少年男子	千 葉 県	大 阪 府	東 山 口 県	静 岡 県	大 崎 静 岡 県	玉 岡 賀 都 府	府 府
			少年女子	千 葉 県	大 阪 府	東 山 口 県	静 岡 県	大 崎 静 岡 県	玉 岡 賀 都 府	府 府
第 58 回 (静岡県)	種 目 別	縦走競技	成年男子	福 島 県	神 奈 川 県	長 野 県	群 馬 県	馬 島 手 本 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
			成年女子	福 島 県	神 奈 川 県	長 野 県	群 馬 県	馬 島 手 本 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
			少年男子	福 島 県	神 奈 川 県	長 野 県	群 馬 県	馬 島 手 本 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
			少年女子	福 島 県	神 奈 川 県	長 野 県	群 馬 県	馬 島 手 本 県	島 手 玉 葉 県	川 本 県
		クライミング 競技	成年男子	千 葉 県	東 大 千 静 岡 県	京 阪 葉 岡 県	都 府 県	大 崎 静 岡 県	阪 玉 岡 口 府	府 府
			成年女子	千 葉 県	東 大 千 静 岡 県	京 阪 葉 岡 県	都 府 県	大 崎 静 岡 県	阪 玉 岡 口 府	府 府
第 59 回 (埼玉県)	種 目 別	縦走競技	成年男子	群 馬 県	馬 都 崎 取 県	福 山 神 奈 川 県	島 口 県	静 岡 県	岡 玉 取 知 県	県 府
			成年女子	群 馬 県	馬 都 崎 取 県	福 山 神 奈 川 県	島 口 県	静 岡 県	岡 玉 取 知 県	県 府
			少年男子	群 馬 県	馬 都 崎 取 県	福 山 神 奈 川 県	島 口 県	静 岡 県	岡 玉 取 知 県	県 府
			少年女子	群 馬 県	馬 都 崎 取 県	福 山 神 奈 川 県	島 口 県	静 岡 県	岡 玉 取 知 県	県 府
		クライミング 競技	成年男子	千 葉 県	葉 玉 玉 海 道	埼 福 佐 茨 城 県	玉 岡 賀 城 県	茨 千 北 長 崎 県	城 葉 海 崎 道 県	県 府
			成年女子	千 葉 県	葉 玉 玉 海 道	埼 福 佐 茨 城 県	玉 岡 賀 城 県	茨 千 北 長 崎 県	城 葉 海 崎 道 県	県 府
第 60 回 (岡山県)	種 目 別	縦走競技	成年男子	香 川 県	山 山 取 県	群 山 秋 岡 県	馬 口 田 山 県	熊 千 鳥 新 本 葉 取 湯 県	本 葉 取 湯 県	川 本 県
			成年女子	香 川 県	山 山 取 県	群 山 秋 岡 県	馬 口 田 山 県	熊 千 鳥 新 本 葉 取 湯 県	本 葉 取 湯 県	川 本 県
			少年男子	香 川 県	山 山 取 県	群 山 秋 岡 県	馬 口 田 山 県	熊 千 鳥 新 本 葉 取 湯 県	本 葉 取 湯 県	川 本 県
			少年女子	香 川 県	山 山 取 県	群 山 秋 岡 県	馬 口 田 山 県	熊 千 鳥 新 本 葉 取 湯 県	本 葉 取 湯 県	川 本 県
		クライミング 競技	成年男子	千 京 京 京 都 府	葉 都 都 府	愛 千 埼 北 海 道	知 葉 玉 海 道	宮 長 宮 兵 城 崎 城 庫 県	城 崎 城 庫 県	川 本 県
			成年女子	千 京 京 京 都 府	葉 都 都 府	愛 千 埼 北 海 道	知 葉 玉 海 道	宮 長 宮 兵 城 崎 城 庫 県	城 崎 城 庫 県	川 本 県
第 61 回 (兵庫県)	種 目 別	縦走競技	成年男子	神 奈 川 県	秋 田 手 知 県	福 長 静 岡 県	島 崎 岡 取 県	兵 神 兵 熊 庫 本 県	神 奈 川 県	川 本 県
			成年女子	神 奈 川 県	秋 田 手 知 県	福 長 静 岡 県	島 崎 岡 取 県	兵 神 兵 熊 庫 本 県	神 奈 川 県	川 本 県
			少年男子	神 奈 川 県	秋 田 手 知 県	福 長 静 岡 県	島 崎 岡 取 県	兵 神 兵 熊 庫 本 県	神 奈 川 県	川 本 県
			少年女子	神 奈 川 県	秋 田 手 知 県	福 長 静 岡 県	島 崎 岡 取 県	兵 神 兵 熊 庫 本 県	神 奈 川 県	川 本 県
		クライミング 競技	成年男子	愛 兵 府 府	知 庫 木 葉 県	千 宮 京 埼 城 都 玉 県	葉 城 都 玉 県	宮 京 山 熊 城 都 口 本 府	城 都 口 本 府	川 本 県
			成年女子	愛 兵 府 府	知 庫 木 葉 県	千 宮 京 埼 城 都 玉 県	葉 城 都 玉 県	宮 京 山 熊 城 都 口 本 府	城 都 口 本 府	川 本 県
			少年男子	愛 兵 府 府	知 庫 木 葉 県	千 宮 京 埼 城 都 玉 県	葉 城 都 玉 県	宮 京 山 熊 城 都 口 本 府	城 都 口 本 府	川 本 県
			少年女子	愛 兵 府 府	知 庫 木 葉 県	千 宮 京 埼 城 都 玉 県	葉 城 都 玉 県	宮 京 山 熊 城 都 口 本 府	城 都 口 本 府	川 本 県

区		分	1 位				2 位			3 位		
第 62 回 (秋田県)	種目別	縦走競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	秋 秋 秋 岡 岡 鳥	田 田 田 山 山 取	県 県 県 県 県 県	山 山 山 秋 秋 秋	梨 口 口 田 田 田	県 県 県 県 県 県	静 神 神 神 神 長	岡 奈 奈 川 川 崎	県 県 県 県 県 県
		クライミング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	千 宮 宮 栃 山 山	葉 城 城 木 木 口	県 県 県 県 県 県	岡 長 長 北 北 静	山 崎 崎 海 海 岡	県 県 県 道 県 道	愛 千 千 宮 宮 富	知 葉 葉 城 城 山	県 県 県 県 県 県
第 63 回 (大分県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	宮 茨 茨 佐 佐 富	城 城 城 賀 賀 山	県 県 県 県 県 県	千 愛 愛 千 千 山	葉 知 知 葉 葉 口	県 県 県 県 県 県	栃 宮 宮 長 長 大	木 城 城 野 野 分	県 県 県 県 県 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	宮 茨 茨 神 神 山	城 城 城 奈 奈 川 川 口	県 県 県 県 県 県	滋 北 北 北 北 千	賀 海 海 海 海 葉	県 道 道 道 道 県	山 埼 埼 岩 岩 山	口 玉 玉 手 手 梨	県 県 県 県 県 県
第 64 回 (新潟県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	栃 大 大 岩 岩 山	木 阪 阪 手 手 口	県 府 府 県 県 県	千 宮 宮 千 千 茨	葉 城 城 葉 葉 城	県 県 県 県 県 県	宮 神 神 長 長 山	城 奈 奈 野 野 梨	県 県 県 県 県 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	宮 茨 茨 長 長 山	城 城 城 野 野 口	県 県 県 県 県 県	栃 宮 宮 千 千 茨	木 城 城 葉 葉 城	県 県 県 県 県 県	広 大 大 北 北 山	島 阪 阪 海 海 梨	県 府 府 道 道 県
第 65 回 (千葉県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	宮 神 神 千 千 山	城 奈 奈 川 川 葉 葉 口	県 県 県 県 県 県	千 宮 宮 山 山 千	葉 城 城 口 口 葉	県 県 県 県 県 県	栃 大 大 静 静 茨	木 阪 阪 岡 岡 城	県 府 府 県 県 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	栃 北 北 千 千 山	木 海 海 葉 葉 口	県 道 道 県 県 県	北 岩 岩 山 山 千	海 手 手 梨 梨 葉	道 県 県 県 県 県	宮 宮 宮 神 神 埼	城 城 城 奈 奈 川 川 玉	県 県 県 県 県 県
第 66 回 (山口県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	千 兵 兵 千 千 山	葉 庫 庫 葉 葉 口	県 県 県 県 県 県	佐 千 千 山 山 千	賀 葉 葉 口 口 葉	県 県 県 県 県 県	岡 山 山 茨 茨 岐	山 口 口 城 城 阜	県 県 県 県 県 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	北 北 北 千 千 山	海 海 海 葉 葉 口	道 道 道 県 県 県	長 兵 兵 山 山 岐	崎 庫 庫 口 口 阜	県 県 県 県 県 県	滋 東 東 和 和 千	賀 京 京 歌 歌 山 山 葉	県 都 都 県 県 県
第 67 回 (岐阜県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	長 岐 岐 埼 埼 千	野 阜 阜 玉 玉 葉	県 県 県 県 県 県	千 茨 茨 千 千 埼	葉 城 城 葉 葉 玉	県 県 県 県 県 県	長 長 長 岐 岐 北	崎 崎 崎 阜 阜 海	県 県 県 道 道 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	佐 山 山 山 山 千	賀 口 口 葉 葉 県	県 県 県 県 県 県	長 茨 茨 千 千 埼	野 城 城 葉 葉 玉	県 県 県 県 県 県	北 北 北 鳥 鳥 栃	海 海 海 取 取 木	道 道 道 県 県 県

区		分	1 位				2 位			3 位		
第 68 回 (東京都)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	長山 崎三	野口 玉重	県 都 府 県	長千 千東	崎葉 葉京	県 都 府 県	神奈 長茨 栃	川崎 城木	県 都 府 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	愛東 埼埼	知京 玉玉	県 都 府 県	長山 大三	野口 阪重	県 府 県	神山 岐東	川梨 阜京	県 都 府 県
第 69 回 (長崎県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	長山 福三	野口 岡重	県 都 府 県	神奈 千栃 千	葉木 葉	県 都 府 県	静宮 埼東	岡城 玉京	県 都 府 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	長宮 栃東	野城 木京	県 都 府 県	大千 埼三	阪葉 玉重	府 県 都 府	三北 岐長	重海 阜崎	県 道 府 県
第 70 回 (和歌山県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	千山 埼愛	葉口 玉知	県 都 府 県	佐埼 福東	賀玉 岡京	県 都 府 県	栃静 大千	木岡 阪葉	県 府 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	大埼 福長	分玉 岡崎	県 都 府 県	栃長 埼鳥	木崎 玉取	県 都 府 県	千山 大愛	葉口 阪知	県 府 県
第 71 回 (岩手県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	埼茨 岩長	玉城 手崎	県 都 府 県	茨山 東鳥	城口 京取	県 都 府 県	千埼 埼大	葉玉 玉阪	県 府 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	千茨 大鳥	葉城 阪取	県 府 県	福東 岩長	岡京 手崎	県 都 府 県	栃山 埼埼	木口 玉玉	県 都 府 県
第 72 回 (愛媛県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	愛福 栃大	媛井 木阪	県 都 府 県	大三 福岩	阪重 岡手	府 県 都 府	埼山 新東	玉口 潟京	県 都 府 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	大福 埼岩	阪井 玉手	府 県 都 府	和歌 山栃 東	歌口 木京	県 都 府 県	岐北 茨愛	阜海 城知	県 道 府 県
第 73 回 (福井県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	埼茨 愛東	玉城 媛京	県 都 府 県	佐三 滋茨	賀重 賀城	県 都 府 県	茨福 埼大	城井 玉阪	県 府 県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	埼長 栃神	玉崎 木奈	県 都 府 県	福東 埼愛	井京 玉知	県 都 府 県	岐茨 北大	阜城 海阪	県 道 府 県

区		分	1 位				2 位			3 位		
第 74 回 (茨城県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	佐大 岐東	賀阪 阜京	県府 県都	埼茨 滋茨	玉城 賀城	県県 県県	福愛 奈大	井知 良阪	県県 県府
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	岐愛 栃東	阜知 木京	県県 県都	北茨 埼茨	海城 玉城	道県 県県	三長 岐福	重崎 阜島	県県 県県
第 75 回 (鹿児島県)	種目別	リード競技	延 期									
		ボルダリング 競技										
第 76 回 (三重県)	種目別	リード競技	中 止									
		ボルダリング 競技										
第 77 回 (栃木県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	千茨 山 大	葉城 口 阪	県県 県府	佐東 東埼	賀京 京 玉	県都 都 県	鳥千 千 静	取葉 葉 岡	県県 県県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	大東 東埼	阪京 京 玉	府都 都 県	鹿児 千 三 静	島葉 重 岡	県県 県県	栃佐 佐 栃	木賀 賀 木	県県 県県
特別 (鹿児島県)	種目別	リード競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	佐東 山 大	賀京 口 阪	県都 県府	千愛 佐 東	葉知 賀 京	県県 県都	奈佐 神 静	良賀 奈 川 岡	県県 県県
		ボルダリング 競技	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	栃東 佐 茨	木京 賀 城	県都 県県	大埼 兵 大	阪玉 庫 阪	府県 県府	奈愛 三 青	良知 重 森	県県 県県

MAP



九州クライミングベースSAGA

多久市北多久町大字小侍23番地(佐賀県立多久高校内)

- 🚆 電車 JR中多久駅より、徒歩10分
- 🚗 最寄りIC 多久IC(ETC専用)より、車で3分
- 🚗 駐車場 近隣に約800台(一般用)



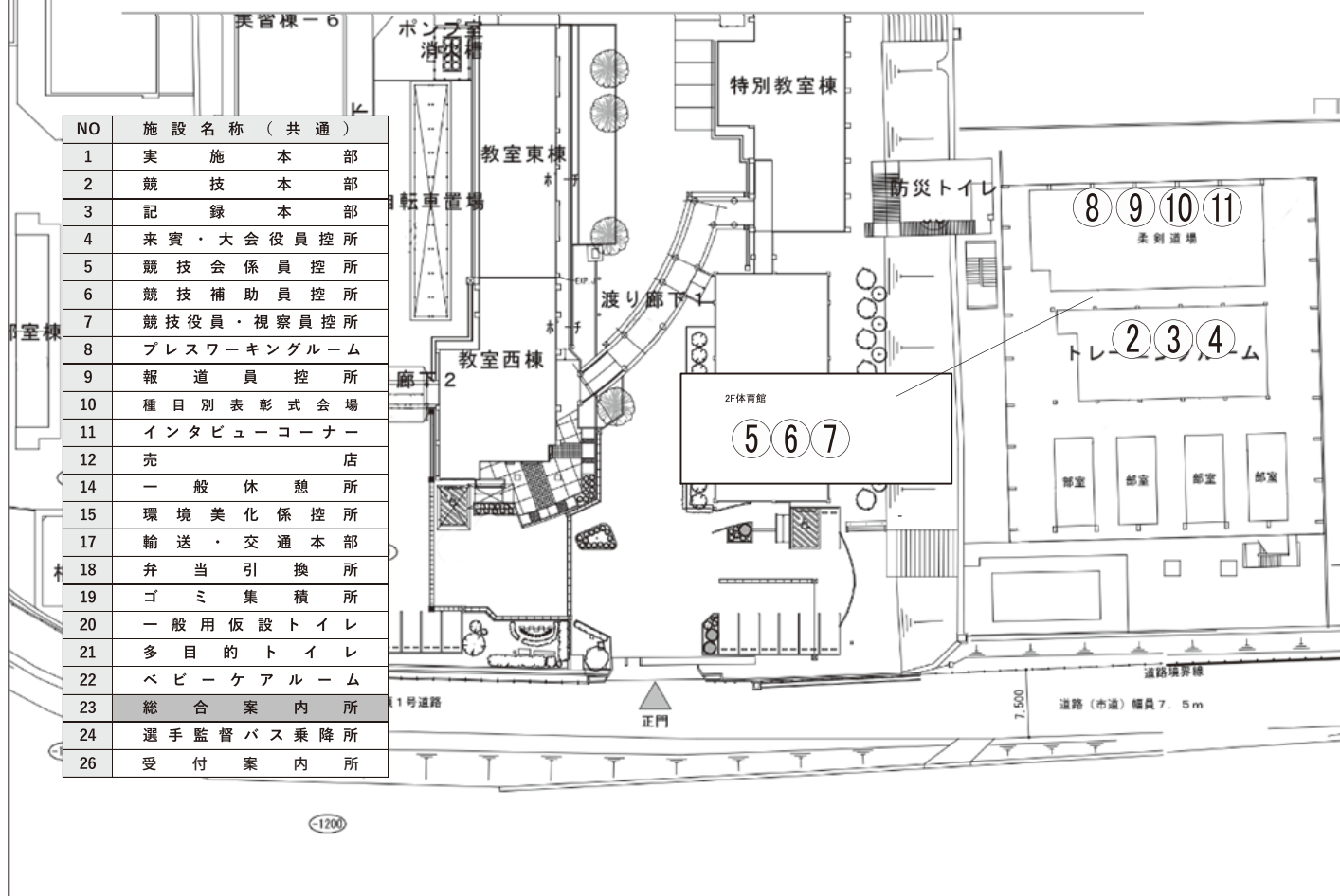
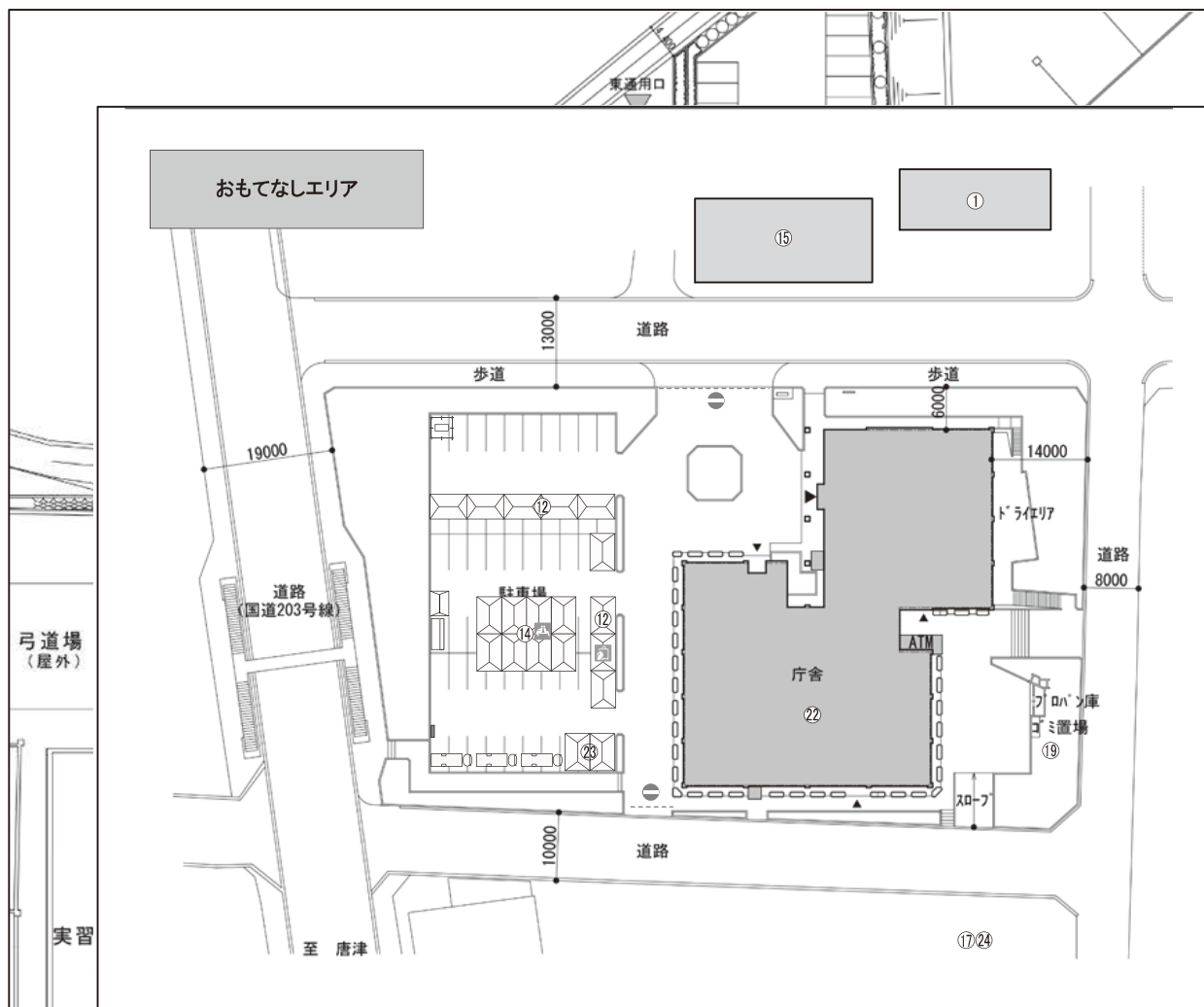
一般駐車場エリア



九州クライミングベースSAGA

本施設は、ボルダー、スピード、リードの3種目全てのウォールを備えた全国屈指のスポーツクライミング施設です。佐賀県が推進するSSP(Saga Sport Pyramid)構想に基づき、ジュニアから社会人までの全世代にわたる育成強化拠点として整備されました。また、日本山岳・スポーツクライミング協会と佐賀県は連携協定を締結しており、令和5年度には国内最高峰の大会や、日本代表合宿が行われました。





関係機関一覧表

◆競技会場

名 称	所 在 地	電話番号
九州クライミングベース SAGA	多久市北多久町大字小侍 23 番地	

◆警察・消防署・救護関係

名 称	所 在 地	電話番号
小 城 警 察 署 多 久 幹 部 派 出 所	多久市北多久町大字小侍 7 番地 5	0952-75-3141
多 久 消 防 署	多久市北多久町大字小侍 22 番地 1	0952-75-2191

◆医療機関等一覧表

名 称	所 在 地	電話番号
まえだ脳神経外科・眼科クリニック ※休日当番医 (10/13)	小城市三日月町長神田 2173-2	0952-72-6101
おおしまクリニック(内科・消化器科) ※休日当番医 (10/13)	小城市牛津町乙柳 1096 番地 1	0952-66-0314
徳 富 医 院 (内 科 ・ 産 婦 人 科) ※休日当番医 (10/14)	小城市芦刈町三王崎 316-3	0952-66-1547
にしかわ整形外科クリニック(整形外科) ※休日当番医 (10/14)	小城市三日月町長神田 2171-5	0952-73-8855
江 口 医 院	多久市東多久町大字別府 5318 番地 1	0952-76-2137
多 久 生 協 ク リ ニ ッ ク	多久市東多久町大字別府 3245 番地 5	0952-76-3177
多 久 市 立 病 院	多久市多久町 1771 番地 4	0952-75-2105

※医療機関等へ来院する前には、事前にご連絡するようお願い致します。

救急の医療機関のお問い合わせ（佐賀広域消防局 救急医療情報） ☎ 0952-31-8899

◆SAGA2024 多久市実行委員会

施 設 名	所 在 地	電話番号
多 久 市 役 所	多久市北多久町 大字小侍 7 番地 1 第 2 東庁舎	0952-20-0268

◆MEMO

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』という社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



UNIVAS

スポーツくじ WINNER COCOO BIG
この活動は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています

『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りようかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書>>



JSPO
Japan Sport Association

JSPO事業についてはこちら>>>>JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



Otsuka

大塚製薬



MIZUNO

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

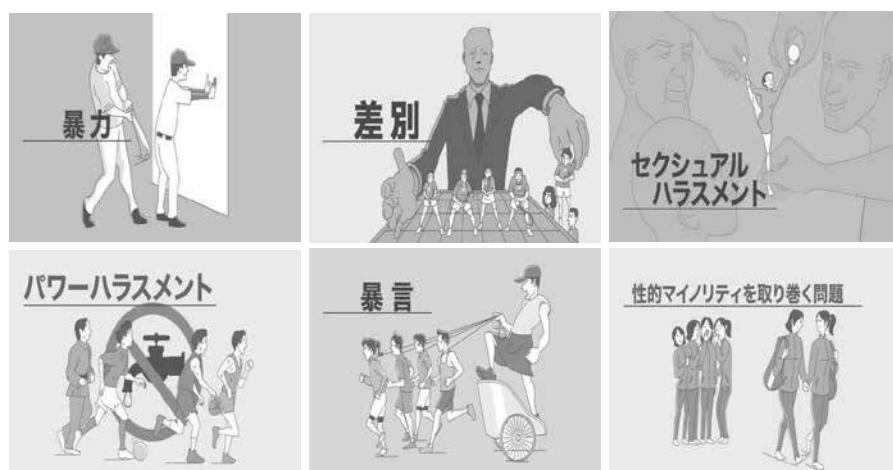
『スポハラ』根絶に向けた取り組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開



スポーツ現場におけるハラスメント防止動画の公開



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

＜過去開催した研修会等の動画公開＞



＜ポスター・ロゴ等広報ツール＞



「NO！スポハラ」活動特設サイトにて公開中！



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

SAGA 2024 国ス ポ 会場地

全障ス ポ



玄海町

- 相撲

大町町

- 銃剣道
- ▲ ウォーキング

小城市

- バレーボール
- ハンドボール
- ソフトボール
- ◆ バレーボール 精神

伊万里市

- 水泳(オープンウォータースイミング)
- ホッケー
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- 軟式野球
- ◆ フライングディスク 身体 知的

基山町

- 卓球
 - パワーリフティング
 - ▲ 草スキー
 - ◆ 卓球 身体 知的 精神
 - 卓球バレー
- ※サウンドダブルテニスを含む

みやき町

- バレーボール
- ソフトボール

多久市

- 弓道
- スポーツクライミング

江北町

- ソフトボール
- ▲ 3B体操

有田町

- ウエイトリフティング
- 軟式野球
- ▲ 皿かぶり競走

唐津市

- バスケットボール
- セーリング
- ソフトテニス
- 軟式野球
- バドミントン
- トライアスロン
- 綱引
- ▲ スケートボード
- ▲ 滝登り
- ▲ ユニカール
- ◆ バスケットボール 知的
- ◆ 車いすバスケットボール 身体
- パラサーフィン

嬉野市

- レスリング
- 軟式野球
- なぎなた
- 武術太極拳
- ▲ スポーツチャンバラ
- ◆ ボッチャ 身体
- 電動車椅子サッカー

鹿島市

- 軟式野球
- アーチェリー
- グラウンド・ゴルフ
- ▲ さわやかグラウンド・ゴルフ
- ▲ バッコー
- ◆ アーチェリー 身体

太良町

- ソフトボール
- ▲ マリンスポーツ
- ◆ ソフトボール 知的

白石町

- ソフトボール
- ▲ ソフトバレーボール
- ◆ グランドソフトボール 身体

武雄市

- 自転車(トラックレース)
- 軟式野球
- ゴルフ
- エアロビック
- ▲ スポーツウエルネス吹矢
- ▲ チャレンジ・ザ・ゲーム
- スポーツウエルネス吹矢

佐賀市

- 陸上競技
- 水泳(競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング)
- サッカー
- テニス
- ローイング
- バレーボール
- 体操(競技、新体操、トランポリン)
- フェンシング
- 柔道
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール
- カヌー(スプリント)
- クレー射撃
- ボウリング

上峰町

- ソフトボール
- ▲ クップ
- ▲ シャッフルボード
- ◆ フットソフトボール 知的
- ふうせんバレーボール

吉野ヶ里町

- バレーボール
- ハンドボール
- ▲ アジャタ

鳥栖市

- サッカー
- バレーボール
- 空手道
- ▼ 高等学校野球(軟式)
- ゲートボール
- ▲ 室内ベタンク
- ▲ スポGOMI
- ▲ ラージボール卓球
- ◆ バレーボール 知的
- ◆ サッカー 知的



- 国ス ポ 正式競技
- ▲ 国ス ポ デモンストレーションスポーツ
- ▼ 国ス ポ 特別競技
- ◆ 全障ス ポ 正式競技
- 国ス ポ 公開競技
- 全障ス ポ オープン競技

県外開催

- 自転車…… 大分県日田市
- ライフル射撃…… 大分県由布市(50m、10m、ビームライフル、ビームピストル)
- 馬術…… 兵庫県三木市
- カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)…… 鹿児島県湧水町

競技日程

競技結果速報URL

こちらのURLで競技結果がすぐ



種別 \ 日程	第 1 日 10月12日(土)	第 2 日 10月13日(日)	第 3 日 10月14日(月・祝)
成年男子	ボルダー競技(B) 予 選 15:30~18:02	リード競技(L) 予 選 11:40~16:20	ボルダー競技(B) 決 勝 9:00~10:36 リード競技(L) 決 勝 16:00~16:48
成年女子	ボルダー競技(B) 予 選 10:20~12:52	リード競技(L) 予 選 11:40~16:20	リード競技(L) 決 勝 9:00~9:48 ボルダー競技(B) 決 勝 15:00~16:36
少年男子	リード競技(L) 予 選 10:20~15:00  リード競技(L) 決 勝 18:30~19:20	ボルダー競技(B) 予 選 13:10~15:42	ボルダー競技(B) 決 勝 12:00~13:36
少年女子	リード競技(L) 予 選 10:20~15:00	ボルダー競技(B) 予 選 9:00~11:27 ボルダー競技(B) 決 勝 17:20~18:56	リード競技(L) 決 勝 12:30~13:18



表彰式

● 種目別表彰式

場所：特設 種目別表彰式会場(体育館1階)

● 総合表彰式

日時：10月14日(月・祝) 18:10~19:00

場所：九州クライミングベースSAGA ボルダー競技会場

多久市義務教育学校
生徒会による
国スポ応援動画は
こちら



SAGA 2024

国スポ
競技別プログラム
(正式・特別・公開)

▽ PC・スマホURL

<https://kirokukensaku.net/5NS24/index.html>

▽ フィーチャーフォンURL

<https://kirokukensaku.net/5NS24/mob/index.html>

